

【令和7年度 須賀川東部地域包括支援センター事業報告】

1. 地域包括支援センター職員数

社会福祉士	2
保健師等	1
理学療法士	1
主任介護支援専門員	1
合 計	5

2. 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

給付管理件数

	R6年度		R7年度	
	合計	月平均	合計	月平均
包括	982	81.8	939	78.3
委託	59	4.9	219	18.2
合 計	1041	86.8	1158	96.5

3. 相談実績

相談方法

	R6年度		R7年度	
	合計	月平均	合計	月平均
電話	613	51.1	585	48.7
来所	71	5.9	78	6.5
訪問	914	76.2	588	49.00
その他	16	1.3	14	1.2
合 計	1,614	134.5	1,265	105.4

4. 通いの場支援

5. ぽんぽこカフェ(認知症カフェ)

(団体)

R6年度	R7年度
12	12

(開催回数)

R6年度	R7年度
9	9

5. 具体的な内容

- ・「地域に開かれた地域包括」を目指し、昨年度と同様にコミュニティセンターと連携し、各地域の集会所で出前講座を行った。また、コミュニティセンター企画の地域住民向けイベントに包括職員が参加し地域住民との交流を深めた。
- ・東部包括主催の認知症カフェ「ぼんぼこカフェ」を4月～12月まで月1回開催し、認知症普及啓発や認知症予防ために、住民同士が気軽に交流できる場を提供した。昨年度に続き、住民主体による文化祭を開催し、約80名の方の来客があった。また、例年、冬季期間はお休みになるが、出張カフェを9地区にて開催し、認知症についての相談会やACP（わたしノート）の話を行った。
- ・インスタやぼんぼこ通信による回覧にて情報発信を行い、インスタは月に2回以上更新を行い、地域への認知を図った。
- ・うつみね診療所と連携し、住民向けの健康増進のための講演会を開催し40名以上の住民が参加した。
- ・社会福祉協議会の介護予防ボランティア事業と連携し、東部包括独自の傾聴ボランティアの継続が出来ており、チームオレンジとしても活動ができている。
- ・包括ミニジムを一般開放し、1日平均6～8名の来客があった。水・金曜日は団体利用、月・火・木曜日は個人利用で、ウルトラ長寿体操やモルック、お茶飲みなどを行っている。ミニジムの新規利用者が徐々に増えており、利用者同士の交流ができて地域活動の拠点となっている。
- ・大東CC主催の行事に職員が定期的に参加し、地域の方との交流が図れている。フィレイル予防のイベントに参加し、健康相談や介護予防を行った。

令和7年度 はっぴいチャイルド事業報告

令和7年4月より、お子様の障害の程度や療育内容のレベルに合わせ1階と2階に分かれて活動を行えるように環境を整え、より集中して活動できるようになりました。また高学年のお子様を中心にお仕事体験の時間を設け、作業のやり方を覚え注意して最後まで作業を行い作業開始終了の報告、依頼された内容を伝える練習。作業内容についての相談ができるように将来を見据え支援しています。連絡帳や面談で保護者への相談を受けて丁寧に具体策の提案などを行いました。職員間での円滑な業務遂行、利用児把握のために職員は声に出しての施錠の確認、お子様から離れる際も周囲に伝える事などを重点的に行いました。

1 支援内容の充実・利用状況

- ・当事業所で送迎サービスを開始して2年が経過しました。共働きの保護者の方も安心して療育に通わせることができています。昨年に比べて送迎回数も2倍以上に増えており送迎のニーズが高くなっています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	送迎利用10名 (未就学3名 学童7名) 計950回 (前年度423回)
65	76	84	67	33	100	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
115	80	91	77	84	78	

- ・8/26に発生した重大インシデント（お子様の事業所外への逃走）の対策として玄関、裏玄関にセンサーアラームの設置、事業所内にチャイルドゲート、ドアベルの設置、屋外フェンスにゲートを設置し飛び出しを予防。あらゆる事故を想定し安全に過ごせるよう配慮しました。
- ・個別支援計画の中間評価を職員で話し合い、計画の修正など丁寧に取り組んでいます。
- ・夏休み期間中にお買い物学習を行っています。事前学習で交通ルールやお買い物のルールを学びセルフレジの操作を行いました。
- ・ライフスキルトレーニング（日常生活を送る上で必要なスキル）に力を入れています。公衆電話の使い方、電話での受け答え、レンジやお湯注いで簡単な調理などに挑戦しています。



令和7年度利用人数 児童発達支援 利用状況 1日定員5名

月	4	5	6	7	8	9	10
営業日	17	15	17	18	12	16	18
利用者	6	6	6	6	6	8	8
延べ人数	58	42	55	58	36	56	59
1日平均	3.4名	2.8名	3.2名	3.2名	3名	3.5名	3.2名

月	11	12	1	2	3	合計
営業日	14	16	16	14	18	191
利用者	8	8	8	9	10	89
延べ人数	52	53	48	51	62	630
1日平均	3.7名	3.3名	3名	3.6名	3.4名	3.2名

放課後等デイサービス 利用状況 1日定員5名

月	4	5	6	7	8	9	10
営業日	21	20	21	22	16	20	22
利用者	19	19	19	19	19	19	19
延べ人数	147	140	156	149	101	136	156
1日平均	7名	7名	7.4名	6.7名	6.3名	6.8名	7名

月	11	12	1	2	3	合計
営業日	18	20	18	18	21	237
利用者	19	19	19	19	19	
延べ人数	102	144	127	111	132	1601
1日平均	5.6名	7.2名	7名	6.1名	6.2名	6.7名

※当事業所は、午前に児童発達支援、午後に放課後等デイサービスの事業を行う多機能型の指定を受けています。

多機能型は2つのサービス併せて定員10名受け入れられ、内訳は事業所内で調整可能となっています。

放課後等デイ利用者状況

支援学校 6名

支援クラス 11名

普通クラス2名 計19名

※昨年度より利用児4名減

2 関係機関との連携

- ・担当会議・モニタリング会議 各学校やこども園などで実施
- ・自立支援協議会 事業所部会(3回) こども部会(3回)
- ・アートフェスティバル参加(作品提供)

3 保護者への支援

- ・おしゃべり会 6/13『就学に向けての動き、家でできること』～就学準備っていつからスタート？～
- ・ふくしまキッズマン交通安全教室7/28
- ・未就学児対象 ハロウィン親子制作
- ・はっぴいチャイルド通信（月1配布）

4 職員職種・員数

管理者（児童発達支援管理責任者）1名 / 主任（児童発達支援管理責任者）1名
事務（児童指導員）1名 / 保育士1名 / 児童指導員2名 / 9月より指導員1名

計7名

5 定例会 職員会議 各種研修

- ・理事長との定例会はコロナ禍より実施していない
- ・職員会議 毎週金曜午前中実施
- ・事業所内研修 虐待防止、身体拘束、ハラスメント、感染症対策、BCP

研修

7月2日	子ども支援部会 自閉症の方々の学習スタイルを見返し、実践へつなげる		鏡石
7月2日	オンライン『子どものトラウマとそのケア』		リモート
7月29日	児童発達支援センターLapo 見学		須賀川
9月9日	ゲートキーパー養成研修会 『みんなで支えるところといのち』		須賀川
9月30日	ゲートキーパー養成研修会 『相談を受けたら…対応の仕方を学ぼう』		須賀川
10月7日	事例検討会ほか		白河
10月9.10日	強度行動障害支援者養成研修 実践研修		郡山
10月25日	幼児安全法講習会		須賀川
11月9日	愛着の視点から考えるライフステージに応じた支援		須賀川
12月3日	発達障害とゲームネットスマホ～デジタル機器とのつきあい方を考える～		リモート
2月4日	発達障がい専門療育力向上事業研修会		郡山
2月6日	児童発達支援管理責任者スキルアップ研修		三春
2月14日	就労勉強会～お子さんの未来の働き方を考える～		鏡石
3月5日	不審者対応に対する勉強会		鏡石
3月11日	虐待防止アンガーマネジメント研修		須賀川

6 地域とのつながり

- ・ミニストップ鏡石店様よりクリスマスケーキプレゼント（12/23）
- ・ぼたんロータリークラブ様より図書(6000円分)と段ボールハウス寄贈（2/17）

7 事務業務報告

4月1日	指定障害児通所支援事業所 指定更新R13年3月31日まで
4月10日	処遇改善計画書提出・人材確保職場環境改善事業計画書提出
7月25日	処遇改善報告書提出
4月21日	公表ホームページ掲載
5月22日	事業報告書提出
6月16日	公用車点検
8月10日	夏季ボーナス支給
9月17日	裏玄関、門設置工事
10月2日	社会福祉施設等調査 事業所調査提出
10/20～24日	砂利駐車場舗装工事
10月29日	人材確保・職場環境改善事業実績報告書提出
11月14日	インフルエンザ予防接種（二小児童クラブ）
11月28日	職員慰労お弁当
12月1日	給湯器取り換え工事
12月より	職員健康診断順次開始
12月20日	冬季ボーナス・処遇改善支給※
3月6日	変更届提出（管理者変更・協力医変更・看護師）
3月11日	運営管理、教材システムLITALICO契約
3月18日	処遇改善緊急支援事業申請提出
3月27日	公表・GビズID調査票提出

※処遇改善手当は毎月支給されていますが、毎月算出された処遇改善の半分の貯蓄一時金として
年2回12月と3月にまとめて支給しています。

地域生活支援サービス/日中一時にじいろ活動報告

保護者の共働き増加により日常的にご利用される方が一定数います。日中一時事業のみのご利用者様はおらず全ての方が療育と併用されています。学校が早く終わる日に療育と併用して療育時間まで利用したり、療育が終わってからお迎えまで日中一時を利用する方もいます。夏休みや春休みの学校休業中のご利用者が増加する時に合わせ、調理実習などを企画しています。電子レンジを使用する冷凍パスタの調理、カップ焼きそばの湯切り練習を兼ねた調理、ラップでおにぎり、食パンにトッピングしてピザパンを作るなどご自宅でも簡単に出来るものを実施しました。廃材を使った制作なども行いました。

利用状況 R7年度 契約者14名

月/利用者	4月/8名	5月/7名	6月/7名	7月/11名	8月/11名	9月/3名	10月/7名
延べ利用回数	53回	46回	46回	70回	55回	35回	43回
月/利用者	11月/7名	12月/10名	1月/8名	2月/6名	3月/7名	月平均7.6名	
延べ利用日	26回	44回	39回	33回	52回	合計 456回	

令和 7 年度 事業実績書

児童クラブ館名 柏城児童クラブ

支援単位数 5

1 開設状況

別紙のとおり

2 人員配置・育成

(1) 人員配置

支援単位 A	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 0 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 1 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 B	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 0 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 C	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 0 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 D	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 0 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 E	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 0 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

(2) 人材育成

研修名	実施月日	参加者数	内容
全体職員研修	5月26日	15	運営指針第7章「職場倫理及び事業内容の向上」等
全体研修会「救命救急法」	5月29日	12	心肺蘇生法、アレルギー・誤嚥等救急時の対応について
第1回新人職員研修	6月12日	1	運営指針序章・第1章「放課後児童クラブ概要」等
第2回新人職員研修	6月26日	1	運営指針第2章「事業の対象となる子どもの発達」
全体研修会「発達障がい」	6月17日	15	対応が難しい児童等の適切な対応のため必要な知識
全体研修会「レクリエーション」	7月2日	14	アイスブレイクゲーム、モルック
第1回安全委員会	7月15日	1	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
全体研修会「事例検討」	9月16日	15	事例を元に、ワークカフェ方式でメンバーを代え話し合う
福島県放課後児童支援員配置を要する児童等対応研修	9月30日	4	対応が難しい児童等の適切な対応のため必要な知識
第3回新人職員研修	9月25日	4	運営指針第3章「放課後児童クラブ育成支援の内容」等
第4回新人職員研修	10月7日	4	運営指針第3章「障がいのある子どもへの対応」等
全体研修会「ヒヤリハット対応」	10月8日	15	うつみね診療所所長よりヒヤリハット時の対応の仕方を学ぶ

放課後支援員認定資格研修	10月15日 他	1	児童支援員の資質を向上するための研修
第5回新人職員研修	10月23日	4	運営指針第4・5・6章「地域との関係、衛生管理・安全対策」等
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	11月6日 7日	1	資質向上研修（初任者研修）
第2回安全委員会	11月6日	2	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	12月11日 12日	1	資質向上研修（中堅者研修）
全体研修会6「資格研修等報告1」	1月22日	14	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
全園子どもの健全育成リーダー養成セミナー	1月30日	1	こどもの意見形成・意見反映を実践する
第3回安全委員会	3月5日	2	3期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加実績についても記入。

3 危機管理

(1) 計画・マニュアル策定状況

計画・マニュアル名	策定状況		
安全計画	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
防災・防犯マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
事故・ケガ防止マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
苦情対応マニュアル	☐ 未策定		☒ 策定済み

上記以外で策定済みの計画・マニュアル

計画・マニュアル名	内容

(2) 訓練

ア 防災・防犯訓練

訓練名	種別	実施月日	内容
避難訓練「地震」	防災	4/28	活動中の地震 クラブ内の避難方法を知る
避難訓練「地震」	防災	9/12	教室内で活動中の地震を想定した訓練を行い、避難方法を知り、より安全な避難ができるよう見直しを行った。
交通安全教室	事故等防止	9/26	交通安全専門委員に協力を依頼し横断歩道の渡り方の実践や正しい交通ルールを学んだ
防災教室「避難訓練」	防災	11/21	須賀川消防署に派遣を依頼し、避難訓練、消火訓練、消防車の見学を行った
防犯教室「不審者・侵入者」	防犯	5/27、1/29	不審者ってどんな人？や気をつける場所について、防犯の知識を標語を用いて学んだ
防災教室「台風・風水害」	防災	7/3	台風について、雨や風の被害など学び、備えについて考える

イ その他訓練

訓練名	実施月日	内容
交通安全教室「雨の日の歩き方」	6/13	雨の日の歩き方、傘の持ち方など
交通安全教室「標識・表示」	11/20	道路の標識について関心を持ち、標識の意味を知る
交通安全教室「夜間の歩行」	12/4	暗いときの車からの見え方など学び、明るい服装・反射材などの効果を学ぶ
交通安全教室「雷道の歩き方」	1/29	降雷時の危険について知り、雷道の安全な歩き方について学ぶ。

4 施設管理

(1) 保守・点検

設備等	再委託	再委託事業者	実施月日						備考
警備設備	日常	無		毎日					職員による点検
	定期	有	ALSOK福島株式会社						
消防設備	日常			随時					職員による点検
	定期	有	ALSOK福島株式会社	5月	11月				

電気工作物	日常			随時						職員による点検
	定期	有	柴電気管理事務所	5月	11月					
冷暖房機器	日常			毎日						職員による点検
	定期	有	東北エアコン・須賀川ガス	8月						
事務機器等	日常			随時						
	定期									

(2) 修繕

該当箇所・設備	欠損・不具合等の内容	修繕事業者	工事期間	修繕費	備考
ホール	照明器の経年劣化による点滅	Let'sななうみ	1日	39,600 円	
遊戯室出入口	建具の転倒防止対策工事	須田商店	2日	34,100 円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
			合計額	73,700 円	

5 自主事業

(1) 業務や施設運営管理の効率化・負担軽減等に関するもの

内容	導入月日	導入した機器等	効果（導入後間もない場合は期待できる効果）
学童システム	R3. 9月	ICTシステムHoic	児童の入退室管理・保護者との情報共有等を一つのシステムで行うことで職員の負担軽減が図れている。

(2) 児童や保護者、地域住民を対象としたサービス・行事等に関するもの

事業名	実施月日	参加者数	費用の徴収	内容
入館式	4月7日	57	なし	令和7年度入館式
子ども会議	4月8日	48	なし	クラブ館の使い方やお約束
新入生歓迎会・4月生まれの誕生会	4月18日	174	なし	新入館児の自己紹介と4月生まれのお誕生会
こいのぼり制作	4/14～	197	なし	「今年の抱負」・「大きくなったら」をうろこに書いて飾る
5月誕生会	5月12日	158	なし	5月生まれの誕生会
七夕製作	6月18日	174	なし	一人ひとり願いを込めた短冊を製作しを飾る
奉仕作業1期	6月28日	50	なし	館内の環境整備・保護者と支援員の信頼関係構築することが出来た。
室内ゲーム大会	6月20日	172	なし	室内での遊び方を知り、安全に過ごせるように学年関係なく交流を図る。
6月の誕生会	6月26日	177	なし	6月生まれの誕生児のお祝いをする。
7月の誕生会	7月4日	188	なし	7月生まれの誕生会を行った。
お楽しみ会	7月18日	171	なし	上の学年を中心に下の学年が楽しめるよう企画準備を行った。
お買い物おやつ	7月31日	139	なし	クラブ館用の100円分のお金を準備しおやつをお買い物
サマーショートボランティア1	8/2～8	6	なし	高校生ボランティアとして子どもたちと交流
ゆうすずみ会	8月3日	314	なし	保護者企画行事「ゆうすずみ会」を実施。

サマーショートボランティア 2	8/2～5	8	なし	高校生ボランティアとして子どもたちと交流
工作(ゼリー石鹸)	8月7日	120	なし	夏休みの自由研究などに向けてヒントになるような作品作り
お買い物おやつ	8月20日	134	なし	クラブ館用の100円分のお金を準備しおやつをお買い物
8月誕生会	8月28日	164	なし	8月生まれの誕生会を行った。
敬老の日プレゼント制作	9月1日	164	なし	おじいちゃんおばあちゃんへの敬老の日のプレゼント制作
9月誕生会	9月16日	159	なし	9月生まれの誕生会を行った。
5館交流会	9月20日	79	なし	ドッジボール大会
奉仕作業 2 期	10月26日	44	なし	館内の環境整備・保護者と支援員の信頼関係構築することが出来た。
ドッジボール大会	10月28日	162	なし	ドッジボール大会
10月誕生会	10月14日	167	なし	10月生まれの誕生会を行った。
5館交流会	9月20日	79	なし	ドッジボール大会
親子レク	9月21日	60	なし	モルック・ポッチャ大会
11月誕生会	11月14日	153	なし	11月生まれの誕生会を行った
12月誕生会	12月4日	157	なし	12月生まれの誕生会を行った
クリスマス会	12月23日	159	なし	クリスマス会
カルタ大会	1月8日	150	なし	新年カルタ大会
だんごさし	1月21日	164	なし	だんごさし
1月誕生会	1月23日	169	なし	1月の誕生会を行った
さくらの木記念製作	2月2日	193	なし	みんなで一つの大きな記念のさくらの木を製作し、思い出を作る。
2月誕生会	2月17日	149	なし	節分 2月の誕生会を行った
3月誕生会	3月3日	175	なし	ひなまつり 3月の誕生会を行った
お別れ会	3月23日	175	なし	お別れ会
お別れ遠足	3月26日	38	なし	ムシテック
奉仕作業 3 期	3月28日	34	なし	館内の環境整備・保護者と支援員の信頼関係構築することが出来た。

6 利用者評価・自己評価の実施

(1) 利用者評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先			
9月1日	保護者	106	64%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
9月1日	児童	106	64%	している	☒ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表			
1月27日	支援員	15	100%	していない	☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
3月22日	主任支援員	1	100%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

7 講評

(1) 施設の管理・運営、職員の業務効率化・負担軽減について工夫したこと、改善点など

柏城児童クラブ館では、利用児童が年々増加しており、安全で安心して過ごせる環境づくりを第一に、支援員同士の情報共有と共通理解を図りながら管理体制を行っております。

業務面では、ICTシステム「GAKUDOUアプリ」の活用により、児童の入退室管理や所在確認、安全性の向上につながるとともに、保護者との連絡機能やお知らせ配信により、迅速かつ細やかな情報共有が可能となり、職員の事務負担軽減にもつながっています。

一方で、操作に不慣れな保護者への支援や、配信内容の確認が十分でない家庭への周知方法については、個々の事情に応じた丁寧な対応が必要です。

また、建物の構造上、活動スペースや導線に制約があり、子どもたちの主体的な遊びや活動の展開に難しさもあるため環境整備や空間活用の工夫を進めていきたいと考えています。

(2) 児童や保護者、地域住民等との関わり方について工夫したこと、改善点など

柏城児童クラブ館では、保護者会を通して保護者との情報共有や連携を図り、安心して利用できる環境づくりに努めています。

今年度は、保護者会と協力しながら、地域住民にも参加いただける行事の開催を進め、地域とのつながりを深めてまいりました。

その他、可能な限り学校行事に参加するなど、学校を中心とした情報共有や連携を図り、地域全体で子どもたちを見守る体制作りにつなげているところです。

今後とも、保護者・学校・地域との継続的な関係作りに努めてまいりたいと考えております。

令和 7 年度 事業実績書

児童クラブ館名	須賀川二小児童クラブ
---------	------------

支援単位数 4

1 開設状況

別紙のとおり

2 人員配置・育成

(1) 人員配置

支援単位 A	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 1 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 B	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 C	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 D	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

(2) 人材育成

研修名	実施月日	参加者数	内容
全体研修会「救命救急法」	令和7年5月23日	11名	心肺蘇生法、アレルギー、誤嚥等救急時の対応について
全体研修会「職場倫理」	令和7年5月27日	11名	職場倫理と保護者への対応について
全体研修会「発達障がい」	令和7年6月17日	12名	発達障がい児の理解と対応等について
全体研修会「レクリエーション」	令和7年7月2日	12名	アイスブレイクゲーム・ボッチャ、
第1回安全委員会	令和7年7月15日	1名	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
地域学校協働研修会	令和7年7月9日	4名	「自然とあそぼう」「子どものよさを育む関わり方」を学んだ。
配慮を要する児童対応研修	令和7年9月11日	2名	配慮を要する児童に対する対応について
全体研修会「事例検討」	令和7年9月16日	12名	事例を元に、ワークシート方式でメンバーを代え話し合う
特別支援教育支援員研修会	令和7年9月30日	2名	特別支援教育支援員としての資質向上を図る
全体研修会	令和7年10月8日	6名	三浦DRによる講義
第2回安全委員会	令和7年11月6日	1名	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和7年11月6日～7日	1名	初任者研修を受け、資質向上を図る。

福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和7年11月12日～13日	1名	中堅者研修を受け、資質向上を図る。
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和7年12月11日～12日	1名	中堅者研修を受け、資質向上を図る。
福島県放課後児童支援員等資質向上研修	令和7年12月13日～14日	1名	専門研修を受け、資質向上を図る。
全体研修会「資格研修等報告1」	令和8年1月22日	9名	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
令和7年度児童厚生員、放課後児童指導員研修	令和8年1月30日	1名	「子どもの行動への理解と対応」について
全体研修会「資格研修等報告2」	令和8年2月24日	11名	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
第3回安全委員会	令和8年3月5日	1名	3期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
令和7年度かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修（動画）	令和8年3月26、27日	13名	5歳児健康診査における発達障がいの気づきとフォローアップ

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加実績についても記入。

(1) 計画・マニュアル策定状況

上記以外で策定済みの計画・マニュアル

ア 防災・防犯訓練

イ その他訓練

(1) 保守・点検

[illegible]

(2) 修繕

該当箇所・設備	欠損・不具合等の内容	修繕事業者	工事期間	修繕費	備考
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
			合計額	0 円	

5 自主事業

(1) 業務や施設運営管理の効率化・負担軽減等に関するもの

内容	導入月日	導入した機器等	効果（導入後間もない場合は期待できる効果）
入退室管理システム導入	4月1日	GAKUDOU	児童の入退室を一つにする事で職員の負担軽減が図られる

(2) 児童や保護者、地域住民を対象としたサービス・行事等に関するもの

事業名	実施月日	参加者数	費用の徴収	内容
入館式	4月7日	44名	なし	新入館児童及び保護者が参加し、ホールで開催した。
4月誕生会・新入館児を祝う会	4月25日	150名	なし	誕生児インタビューや1年生の自己紹介をし、6年生によるダンスでお祝いをした。
5月お誕生会	5月30日	145名	なし	誕生児インタビューをしてお祝いをした。
6月誕生会	6月13日	149名	なし	誕生児インタビューや4年生による創作劇を楽しんだ。
七夕短冊製作	7月1日～	170名	なし	七夕の短冊を作成し、玄関に飾った。
7月誕生会	7月7日	149名	なし	誕生児インタビューをしてお祝いをした。
お楽しみ会	7月18日	139名	なし	5,6年生が企画の内容でビンゴゲーム、ダンスを楽しんだ。
俳句教室	7月25日	40名	なし	「風流のはじめ館」の講師の先生に俳句を教わった。
夏祭り（保護者参加行事）	8月2日	159名	あり	縁日のような出し物を親子で楽しんだ。
夏休み工作	8月20日	60名	なし	ペットボトルキャップ磁石を皆で作って楽しんだ。
8月お誕生会	8月25日	124名	なし	誕生児インタビューをしてお祝いをした。
奉仕作業1期	9月6日	56名（親）	なし	保護者参加による館内の清掃作業を行った。
9月お誕生会	9月26日	129名	なし	誕生児インタビューと「二小児童クラブ館クイズ」をしてお祝いをした。
敬老の日製作	9/1～9/9	139名	なし	マグネットケースに写真と祖父母へのメッセージを貼り、プレゼントした。
10月お誕生会・お月見	10月10日	140名	なし	誕生児インタビューと「お月見クイズ」をしてお祝いをした。

ハロウィンパーティー	10月28日	140名	なし	5, 6年生が子ども会議を開き、お化け屋敷やゲームを楽しんだ。
親子レクリエーション（保護者会）	11月15日	58名	なし	「ポッチャ」を通して競技の楽しさと親子間、保護者間の交流を深めた。
お楽しみ会	7月18日	139名	なし	誕生児インタビューをしてお祝いをした。
勤労感謝の日製作	11/4～20	160名	なし	日頃の感謝を込めてカレンダーにメッセージを添えて、プレゼントした。
11月お誕生会	11月28日	124名	なし	誕生時インタビューと「言葉探しゲーム」を楽しみ、お祝いをした。
12月お誕生会	12月19日	133名	なし	誕生時インタビューと「クリスマストナカイクイズ」を楽しみ、お祝いをした。
クリスマス会	12月23日	143名	なし	実行委員会を作り、演目や役割分担を決めて楽しんだ。
かるた大会	1月6日	85名	なし	年の始めにお正月遊びを楽しんだ。
お年玉抽選会	1月8日	121名	なし	今年初めての運試しを楽しんだ。
だんごさし、1月お誕生会	1月16日	135名	なし	1年の幸せを願い、みずきの木に飾り付け、お誕生児を祝った。
吉田さん感謝の会（1～3年生）	1月23日	97名	なし	りんごと絵本を頂いたお礼にダンスや歌を披露し、感謝の言葉を伝えた。
節分、2月お誕生会	2月3日	103名	なし	自分の中の鬼を退治するためのゲームを楽しみ、お誕生児を祝った。
ひな祭り、3月お誕生会	3月3日	128名	なし	ひなまつりの由来や意味を知り、お誕生児を祝った。
お楽しみ会	3月19日	124名	なし	児童主体のお楽しみ会で6年生を明るく送った。
奉仕作業2期	3月28日	38名（親）	なし	館内清掃と新年度準備を保護者、児童職員で行いました。
お買い物おやつ	3月31日	76名	なし	100円という限られたお金（紙）を使い、計算をしながらおやつを選ぶ。

6 利用者評価・自己評価の実施

(1) 利用者評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先			
令和7年9月8日	保護者	80 63%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）	
令和7年9月8日	児童	100 60%	している	☒ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）	
				☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）	
				☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）	

(2) 自己評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表			
令和7年10月21日	支援員	11人 100%	していない	☒ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）	
令和8年1月28日	支援員	11人 100%	していない	☒ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）	
令和8年3月22日	主任支援員	1 100%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）	
				☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）	

7 講評

(1) 施設の管理・運営、職員の業務効率化・負担軽減について工夫したこと、改善点など

入退室管理システム「GAKUDOU」を令和6年4月1日より導入する事で、入退出の管理や出欠連絡、連絡帳による保護者との対話がスムーズに取れるようになりました。
さらに、お便りやクラブ内での普段の様子を画像で送れるなど、効率化や負担軽減に役立っています。
また、おやつ代も銀行引き落としとなり、毎月のお金の管理が軽減されました。

(2) 児童や保護者、地域住民等との関わり方について工夫したこと、改善点など

1年生から6年生までの児童171名を定員を超えて受け入れた事から、大勢が安心して安全に過ごせる環境づくりに取り組みました。
狭い空間ながらも宿題や学習に取り組める落ち着いた環境を作ろうと机の配置や図書室の活用（支援児対応）を工夫するなど取り組みました。
館内を有効に活用するための工夫として、ホールの遊び方を曜日や時間、遊ぶ内容を提示する事で、怪我無く思い切り身体を動かし、余暇活動を好きなように楽しんでできるようにしました。
保護者との関わりについては、入館式は1年生の児童と保護者が参加し円滑に開催することができました。
年間で計画している2回の奉仕作業には多くの保護者にご協力いただき、館内の清掃に取り組みしました。
また、今年度初めて「親子レクリエーション」を開催し、「ポッチャ」を通して親子間、保護者間の交流を深めました。
館内の行事については、お楽しみ会や夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会など5、6年生が中心となり、実行委員会を開き実行する事で、全員が参加楽しめるものとなりました。
その他、夏休みには俳句講座など風流のはじめ館主催の行事に参加したり、高校生ボランティアに多数協力してもらい、楽しく過ごすことができました。
特別な行事を取り入れ、参加することで友達や地域とのより良い関係を育めるようにしました。

令和 7 年度 事業実績書

児童クラブ館名	白方児童クラブ
---------	---------

支援単位数 1.5

1 開設状況

別紙のとおり

2 人員配置・育成

(1) 人員配置

支援単位 A	①放課後児童支援員	3 人	(内訳: 常勤 3 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 1 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 B	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 C	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 D	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

(2) 人材育成

研修名	実施月日	参加者数	内容
全体研修会1救命救急法	令和7年5月23日	2人	心肺蘇生法、アレルギー、嘔吐等救急時の対応
全体研修会2「発達障がい児について	令和7年6月17日	3人	発達障がい児の理解と支援について
全体研修会3「レクリエーション」	令和7年7月2日	3人	アイスブレイクゲーム、ポッチャ
第1回安全委員会	令和7年7月15日	3人	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り検討する
全体研修会4「事例検討」	令和7年9月15日	3人	事例を元に、ワールドカフェ式で話し合う
全体研修会5	令和7年10月8日	3人	うつみね診療所所長の講話
認定資格研修	令和7年10月15 他	1人	児童支援員認定資格研修
第2回安全委員会	令和7年11月6日	1人	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り検討する
県中域家庭教育支援者研修	令和7年11月15 日	1人	「ほめ方」「叱り方」
全体研修会6「資格研修報告1」	令和8年1月22日	3人	認定資格研修、資質向上研修等全員で共有する
児童厚生員放課後児童指導員研修	令和8年1月30日	1人	子どもの行動への理解と対応
全体研修会7「資格研修報告2」	令和8年2月24日	3人	認定資格研修、資質向上研修等全員で共有する

第3回安全委員会	令和8年3月5日	1人	3期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
令和7年度かかりつけ医等発達障がい対応力	令和8年3月30日	4人	5歳児の発達について

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加実績についても記入。

3 危機管理

(1) 計画・マニュアル策定状況

計画・マニュアル名	策定状況		
安全計画	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
防災・防犯マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
事故・ケガ防止マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
苦情対応マニュアル	☐ 未策定		☒ 策定済み

上記以外で策定済みの計画・マニュアル

計画・マニュアル名	内容

(2) 訓練

ア 防災・防犯訓練

訓練名	種別	実施月日	内容
避難訓練	防災	11月27日	火災発生時の注意点と避難経路の確認。
避難訓練	防災	3月11日	震度5以上の地震発生を想定、紙芝居やクイズで意識を高める。

イ その他訓練

訓練名	実施月日	内容

4 施設管理

(1) 保守・点検

設備等	再委託	再委託事業者	実施月日						備考
警備設備	日常		随時						
	定期	有	ALSOK福島株式会社						
消防設備	日常		随時						
	定期	有	ALSOK福島株式会社	5月	11月				
電気工作物	日常		毎日						
	定期								
冷暖房機器	日常		随時						
	定期	有	東北エアコン・須賀川ガス	8/22	12/4				
事務機器等	日常		毎日						
	定期								

(2) 修繕

該当箇所・設備	欠損・不具合等の内容	修繕事業者	工事期間	修繕費	備考
教室カーテン	防災カーテンの欠損	星野工務店	1日	16,500 円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
			合計額	16,500 円	

5 自主事業

(1) 業務や施設運営管理の効率化・負担軽減等に関するもの

内容	導入月日	導入した機器等	効果（導入後間もない場合は期待できる効果）
メール配信システム導入	10月21日	LEBER	出欠確認、一斉メール配信

(2) 児童や保護者、地域住民を対象としたサービス・行事等に関するもの

事業名	実施月日	参加者数	費用の徴収	内容
入館式	4月6日	19名	なし	令和8年度児童クラブ館の入館式を行った
新入児歓迎会	4月8日	44名	なし	自己紹介やおやつを食べ交流をした
4.5月お誕生日会	5月2日	42名	なし	特別おやつを食べた
お楽しみお誕生日会（6.7月）	7月18日	35名	なし	校庭で水鉄砲遊びをした
お弁当注文（7/29.30.31）	7月29日			長期休暇限定で、お弁当の注文をした
夏まつり	8月1日	32名	なし	輪投げ、千本引き、ボールすくい等お祭りの雰囲気を楽しんだ
8.9月お誕生日会	9月5日	45名	なし	特別おやつを食べ誕生児をお祝いした
児童クラブ館交流会	9月20日	8名	なし	うつみね福祉会の5館で、ドッジボールをした
ハロウィーンパーティー	10月23日	32名	なし	ビンゴゲームの後に、好きな景品を選んだ
10.11月お誕生日会	11月14日	40名	なし	特別おやつを食べた
防災訓練	11月27日	44名	なし	避難時の注意点、避難経路の確認をした
クリスマスお楽しみ会	12月23日	35名	なし	「ひらがなボーカゲーム」の後特別おやつを食べた
かるた大会	1月8日	25名	なし	かるた取りをして季節の行事を楽しんだ
12月.1月お誕生日会	1月16日	42名	なし	特別おやつを食べた
節分	2月3日	34名	なし	新聞紙のボールを鬼にぶつけ楽しんだ
2月.3月ひなまつりお誕生日会	3月3日	40名	なし	特別おやつを食べた
防災教室	3月11日	41名	なし	クイズ等で、命を守る知識を高める
お別れ会	3月19日	46名	なし	ビンゴゲームの後、文集を見ながら思い出を振り返った

6 利用者評価・自己評価の実施

(1) 利用者評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率		結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
令和7年9月1日	保護者	29	75%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
令和7年9月1日	児童	34	69%	している	☒ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施の有無							
調査月日	回答者	回答数・回答率		結果の周知・公表	評価結果の周知・公表		
令和7年10月21日	支援員	3	100%	していない	☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
令和8年1月21日	支援員	3	100%	していない	☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
令和8年3月6日	主任支援員	1	100%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

7 講評

(1) 施設の管理・運営、職員の業務効率化・負担軽減について工夫したこと、改善点など

業務については、役割分担をし負担を軽減しました。
施設管理については、子どもの安全のため必要に応じて修繕や備品購入の相談をしています。

(2) 児童や保護者、地域住民等との関わり方について工夫したこと、改善点など

子ども達や保護者が、相談しやすい環境作りに努めています。

令和 7 年度 事業実績書

児童クラブ館名	白江児童クラブ	支援単位数	1
---------	---------	-------	---

1 開設状況

別紙のとおり

2 人員配置・育成

(1) 人員配置

支援単位 A	①放課後児童支援員	3 人	(内訳：常勤 2 人，非常勤 1 人)
	②補助員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳：常勤 人，非常勤 1 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
支援単位 B	①放課後児童支援員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
支援単位 C	①放課後児童支援員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
支援単位 D	①放課後児童支援員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳：常勤 人，非常勤 人)

(2) 人材育成

研修名	実施月日	参加者数	内容
第1回 安全委員会	令和7年5月8日	1名	ヒヤリハット事例検討会
全体研修会「救命救急法」	令和7年5月23日	4名	心肺蘇生法、アレルギー対応、救急車要請方法
全体研修会「運営指針」	令和7年5月27日	4名	運営指針について研修を行う
全体研修会「発達障害」	令和7年6月3日	4名	発達障がい児への対応について
全体研修「リクレーション」	令和7年7月2日	4名	アイスブレイクゲーム、ボッチャ
第2回 安全委員会	令和7年7月15日	1名	1期分のヒヤリハットを持ち寄り対応を検討
全体研修会「事例検討会」	令和7年9月16日	4名	事例を基にワールドカフェ方式でメンバーを交え班試合をする
ドクターによる講話	令和7年10月8日	4名	三浦先生より健康と病気のかかわりを学ぶ
第3回 安全委員会	令和7年11月6日	1名	ヒヤリハット事例の検討
第1回 研修報告会	令和8年1月22日	4名	認定資格・資質向上研修の内容を全員で共有する

第2回 研修報告会	令和8年2月24日	4名	認定資格・資質向上研修の内容を全員で共有する
第4回 安全委員会	令和8年3月5日	1名	ヒヤリハット事例検討会

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加実績についても記入。

3 危機管理

(1) 計画・マニュアル策定状況

計画・マニュアル名	策定状況		
安全計画	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
防災・防犯マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
事故・ケガ防止マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
苦情対応マニュアル	☐ 未策定		☒ 策定済み

上記以外で策定済みの計画・マニュアル

計画・マニュアル名	内容

(2) 訓練

ア 防災・防犯訓練

訓練名	種別	実施月日	内容
避難訓練	防災	5月23日	避難訓練の際の避難経路や注意することを確認
避難訓練	防災	9月12日	地震に対する避難方法と避難を行う

イ その他訓練

訓練名	実施月日	内容

4 施設管理

(1) 保守・点検

設備等	再委託	再委託事業者	実施月日						備考
警備設備	日常			毎日					職員による点検
	定期	有	ALSOK福島株式会社						
消防設備	日常			随時					職員による点検
	定期	有	ALSOK福島株式会社						
電気工作物	日常			随時					職員による点検
	定期								
冷暖房機器	日常			毎日					職員による点検
	定期	有	東北エアコン・須賀川ガス						
事務機器等	日常			随時					職員による点検
	定期								

(2) 修繕

該当箇所・設備	欠損・不具合等の内容	修繕事業者	工事期間	修繕費	備考
照明器具	照明器具欠損	佐藤ファクトリー	1日	25,300 円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
			合計額	25,300 円	

5 自主事業

(1) 業務や施設運営管理の効率化・負担軽減等に関するもの

内容	導入月日	導入した機器等	効果（導入後間もない場合は期待できる効果）

(2) 児童や保護者、地域住民を対象としたサービス・行事等に関するもの

事業名	実施月日	参加者数	費用の徴収	内容
入館式	4月7日	66	なし	
歓迎会	4月14日	36	なし	
誕生会	4月25日	40	なし	
誕生会	5月27日	40	なし	
ぬりえコンテスト	6月3日	42	なし	
七夕	6月30日	44	なし	
誕生会	7月14日	37	なし	
夏祭り会	8月5日	39	なし	
誕生会	8月28日	34	なし	
5館交流会	9月20日	13	なし	
誕生会	9月25日	35	なし	
おりがみコンテスト	9月2日	35	なし	
誕生会	9月25日	35	なし	
誕生会	10月25日	36	なし	
ハロウィンパーティー	10月28日	40	なし	
誕生会	11月20日	40	なし	
誕生会	12月17日	40	なし	
クリスマス会	12月23日	40	なし	
かるた取大会	1月15日	41	なし	

誕生会	1月22日	38	なし	
節分	2月2日	26	なし	
なわとび大会	2月10日	38	なし	
誕生会	2月24日	39	なし	
誕生会	3月5日	38	なし	
お楽しみ会	3月19日	42	なし	

6 利用者評価・自己評価の実施

(1) 利用者評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先			
9月1日	保護者	29	94%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
9月1日	児童	38	90%	している	☒ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率	結果の周知・公表	評価結果の周知・公表			
11月4日	支援員	4	100%	していない	☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
1月26日	支援員	4	100%	していない	☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
3月16日	主任支援員	1	100%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

7 講評

(1) 施設の管理・運営、職員の業務効率化・負担軽減について工夫したこと、改善点など

役割分担を明確にし確実に業務が遂行できるように声掛けを行い、児童へのかかわりを中心に時間を使うことができました

(2) 児童や保護者、地域住民等との関わり方について工夫したこと、改善点など

児童だけでなく保護者とかかわりもできるだけ多くとることにより、情報の共有をすることで児童への対応を密にすることができました。

令和 7 年度 事業実績書

児童クラブ館名	大東児童クラブ
---------	---------

支援単位数 2

1 開設状況

別紙のとおり

2 人員配置・育成

(1) 人員配置

支援単位 A	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 B	①放課後児童支援員	2 人	(内訳: 常勤 2 人, 非常勤 0 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 0 人, 非常勤 0 人)
	③障がい児専門員	1 人	(内訳: 常勤 1 人, 非常勤 0 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 C	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 D	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
支援単位 E	①放課後児童支援員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	②補助員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	③障がい児専門員	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)
	④その他 ()	0 人	(内訳: 常勤 人, 非常勤 人)

(2) 人材育成

研修名	実施月日	参加者数	内容
全体職員研修	令和7年5月26日	7	運営指針第7章「職場倫理及び事業内容の向上」等
全体研修会「救命救急法」	令和7年5月29日	7	心肺蘇生法、アレルギー・誤嚥等救急時の対応について
全体研修会「発達障がい」	令和7年6月17日	7	対応が難しい児童等の適切な対応のため必要な知識を
全体研修会「レクリエーション」	令和7年7月2日	7	アイスブレイクゲーム、モルック
第1回安全委員会	令和7年7月15日	1	1期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
福島県配慮を要する児童等対応研修	令和7年9月11日	2	必要な知識の習得や実践的な指導技術に関する援助方法を学ぶ
全体研修会4「事例検討」	令和7年9月16日	7	事例を元に、ワールドカフェ方式でメンバーを代え話し合う
全体研修会5「ヒヤリハット対応」	令和7年10月8日	1	うつみね診療所所長よりヒヤリハット時の対応の仕方を学ぶ
第2回安全委員会	令和7年11月6日	1	2期分のヒヤリハット事例を持ち寄り、対応を検討する
福島県放課後児童支援員資質向上研修	令和7年11月12日～13日	1	専門研修を実施し、放課後子ども総合プランを推進する
児童館等施設長及び児童厚生員研修会	令和7年11月12日	1	改正児童館ガイドライン、こども主体を尊重した環境について考え

全体研修会 6「資格研修等報告 1」	令和8年1月22日	7	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
児童厚生員・放課後児童指導員研修	令和8年1月30日	1	子どものストレスサインや対応方法について知識を深め理解する
全体研修会 7「資格研修等報告 2」	令和8年2月24日	7	認定資格研修、資質向上研修等の内容を全員で共有する
第3回安全委員会	令和8年3月5日	1	3期分のヒヤリハット事例を持ち帰り、対応を検討する
令和7年度かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修	令和8年3月25日	1	5歳児の定型発達について
令和7年度かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修	令和8年3月26日	1	5歳児健診で大切にしたい視点と健診後の支援について

※認定資格研修、資質向上研修のほか、独自に実施した研修、他の団体主催の研修への参加実績についても記入。

3 危機管理

(1) 計画・マニュアル策定状況

計画・マニュアル名	策定状況		
安全計画	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
防災・防犯マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
事故・ケガ防止マニュアル	☐ 令和	年策定予定	☒ 策定済み
苦情対応マニュアル	☐ 未策定		☒ 策定済み

上記以外で策定済みの計画・マニュアル

計画・マニュアル名	内容

(2) 訓練

ア 防災・防犯訓練

訓練名	種別	実施月日	内容
避難訓練～火事～	防災	令和7年9月11日	火災が発生した想定でおこなった
避難訓練～地震～	防災	令和7年9月13日	地震が発生した想定でおこなった

イ その他訓練

訓練名	実施月日	内容

4 施設管理

(1) 保守・点検

設備等		再委託	再委託事業者	実施月日						備考
警備設備	日常	無		毎日						職員による点検
	定期	有	ALSOK福島(株)							
消防設備	日常	無		随時						職員による点検
	定期	有	東北セイフ	6/10	12/15					
電気工作物	日常	無		随時						職員による点検
	定期	有	東北保安協会	8/7						
冷暖房機器	日常	無		毎日						職員による点検
	定期	有	東北エアコン・須賀川ガス							
事務機器等	日常	無		随時						
	定期	無								

(2) 修繕

該当箇所・設備	欠損・不具合等の内容	修繕事業者	工事期間	修繕費	備考
玄関ドア	戸の開閉の不具合	須田商店	5月14日	35,860 円	
職員ドア	戸の開閉の不具合	須田商店	5月26日	11,440 円	
学習室1・2	引き戸の外れ止め施工	須田商店	1月27日～1月28日	53,680 円	
男子トイレ	手洗い場の水もれ	クボタ環境衛生株式会社	3月18日	4,400 円	
学習室・ホール	網戸張替え	須田商店	3月19日	7,700 円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
合計額				113,080 円	

5 自主事業

(1) 業務や施設運営管理の効率化・負担軽減等に関するもの

内容	導入月日	導入した機器等	効果（導入後間もない場合は期待できる効果）
学童システム	R3. 9月	ICTシステムHoic	児童の入退室管理・保護者との情報共有等をいつのシステムで行うことで職員の負担軽減が図れている。

(2) 児童や保護者、地域住民を対象としたサービス・行事等に関するもの

事業名	実施月日	参加者数	費用の徴収	内容
入館式	4月7日	16名	なし	入館児童・その保護者で入館式
1年生歓迎会	4月25日	78名	なし	新1年生の歓迎会
こどもの日制作	4月28日	15名	なし	兜の制作
4・5月誕生会	5月29日	83名	なし	4月5月生まれの誕生会
お買い物おやつ	6月27日	81名	なし	館内で、売手買手にわかれおやつを購入
七夕制作	7月7日	75名	なし	短冊の制作
6・7月誕生会	7月11日	81名	なし	6月7月生まれの誕生会
お楽しみ会	7月18日	64名	なし	グループ対抗でポッチャを楽しむ
家族そろって夏祭り	8月2日	121名	なし	ブースを親子で回り、夏の思い出をつくる
ジュニア消防	8月20日	45名	なし	大東コミュニティセンター主催の消防教室に参加
5館交流会	9月20日	24名	なし	5つの児童クラブ館が一堂に会し交流をはかる
スポーツ鬼ごっこ	10月28日	73名	なし	スポーツ鬼ごっこ愛好家会長による教室
十五夜	10月6日	83名	なし	伝統行事を行い、情緒を育み想像力を豊かにする
ハロウィンパーティー	10月29日	80名	なし	仮装やクイズを通して友達との交流を深める
おおひがし光のイルミネーション	11月28日	74名	なし	大東コミュニティセンター主催のイルミネーションに参加
10・11月誕生会	11月28日	74名	なし	10月11月生まれの誕生会
ぬりえコンテスト	12月5日	41名	なし	みんなで投票し、景品をわたす
クリスマス会	12月23日	82名	なし	グループごとに出し物し、サンタさんからプレゼントをいただく

だんごさし	1月6日	30名	なし	伝統行事うを飾ってたのしむ。
カルタ大会	1月8日	65名	なし	季節の行事を楽しむ
12・1月誕生会	1月26日	79名	なし	12月1月生まれの誕生会
節分	2月3日	59名	なし	新聞紙を使って鬼を退治する
2・3月誕生会	3月3日	80名	なし	2月3月生まれの誕生会
お楽しみ会	3月16日	79名	なし	グループ対抗でビンゴを楽しむ
お別れ会	3月19日	80名	なし	みんなで6年生の卒業をお祝いする

6 利用者評価・自己評価の実施

(1) 利用者評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率		結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
令和7年9月1日	児童	52	79%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
令和7年9月1日	保護者	69	77%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

(2) 自己評価

実施の有無	有						
調査月日	回答者	回答数・回答率		結果の周知・公表	評価結果の周知・公表先		
令和7年10月21日	支援員	7	100%	していない	☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
令和8年1月29日	支援員	7	100%	していない	☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）
令和8年3月22日	主任支援員	1	100%	している	☒ 職員	☒ 児童・保護者	☒ 外部（地域など）
					☐ 職員	☐ 児童・保護者	☐ 外部（地域など）

7 講評

(1) 施設の管理・運営、職員の業務効率化・負担軽減について工夫したこと、改善点など

毎月のおたよりは紙媒体をなくし、アプリで配信することで業務の負担軽減につなげることが出来ました。
 学校との情報共有がもう少しスムーズなるように、児童クラブからもおたよりを渡すなどして、相互のコミュニケーションを図っていききたいと考えております。

(2) 児童や保護者、地域住民等との関わり方について工夫したこと、改善点など

令和7年度も、地域主催の行事に参加させていただき交流することが出来ました。
 その他、保護者のお迎えの際に児童の様子を伝えることで、コミュニケーションをとり信頼関係を築くことが出来ました。

特別養護老人ホームほたるの里 令和7年度 事業報告

令和7年度は、昨年度同様に「開かれた施設」を目指すべく地域との交流促進を積極的に図ってきた。外部ボランティアの受け入れ、すべての年代の学生による職場体験やボランティア活動の受け入れ、幼稚園児との継続的な交流会と、昨年度からの取り組みを継続できたことに加え、SNSの利用を開始し、情報発信にも力を入れることができた。こうした取り組みは、ご利用者のQOLの向上だけにとどまらず、職員の求人活動へも少なからず良い影響をもたらすことを実感できる年度となった。次年度以降も慢性的に継続するのではなく、新たな取り組みを考え取り入れて行きたい。

経営面については、特養事業及びショートステイ事業の入所系サービスにおいては、一体的な視点によるベットコントロールを行うことで、トータルのベット稼働において目標を達成できた。しかし、デイサービス事業においては、稼働目標は達成できず右肩下がりとなる厳しい状況となってしまった。最終的にほたるの里拠点としては、入所系サービスの影響が大きく、昨年度を大きく超える収入額となったが、支出において、利用者増による経費負担の増加に加え、物価高の影響は非常に大きく、昨年度と比較しこちらも大きく増額となった。最終的な収支としては、昨年度と比較し若干の増収にとどまった。

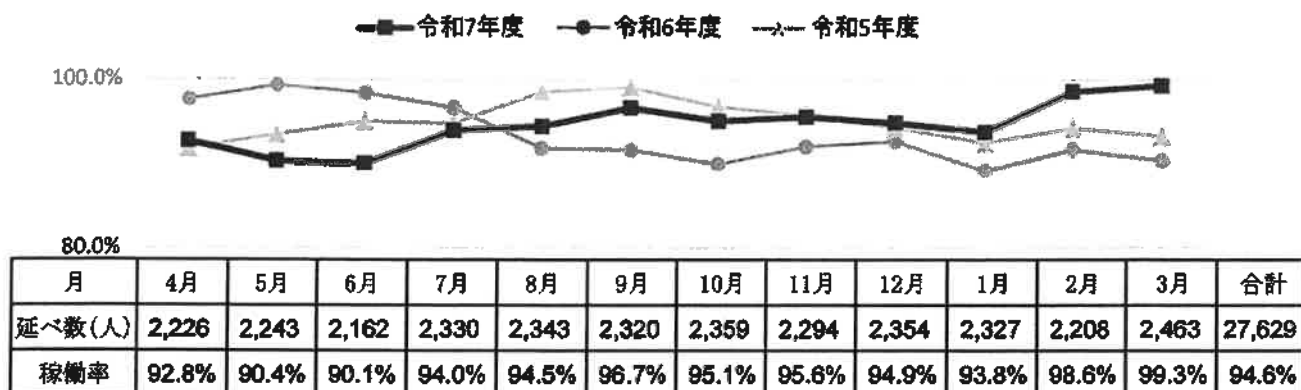
次年度に向け、特養待機者の増減や、ショートステイ及びデイサービスの需要等地域の介護サービスに対する動向をしっかりと把握し、近隣事業所と協力しながら、必要な介護サービスを安定して提供できるよう努力して行きたい。

今年度実行できなかった取り組みとして、ご家族に向けた「看取り介護」や「BCP」に関するほたるの里の方針についての説明会がある。これについては、次年度早期に実施し、ご利用者へ良いサービスを提供できる施設となるため、ご家族へもご理解ご協力を仰いでいきたい。

以下、事業別に詳細をご報告いたします。

1. 特別養護老人ホームほたるの里

(1) 稼働率

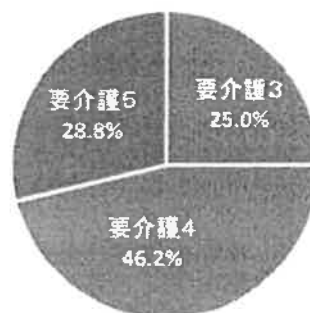
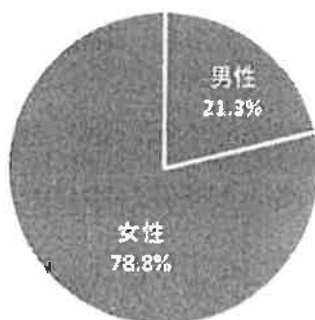


(2) 入所者性別／要介護度別割合

令和8年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	4	5	8	17
女性	0	0	16	32	15	63
合計	0	0	20	37	23	80
割合	0.0%	0.0%	25.0%	46.2%	28.8%	100.0%

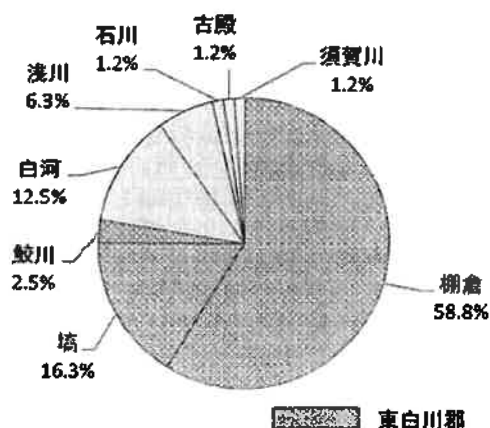
平均要介護度	
男性	4.2
女性	4.0
全体	4.0



(3) 入所者市町村別割合

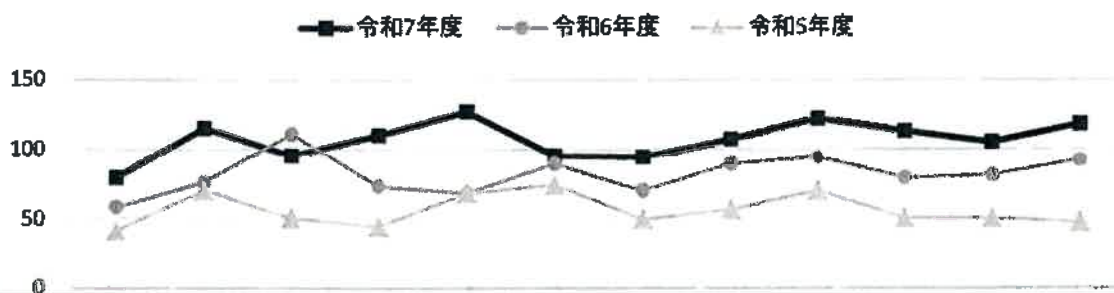
令和8年3月31日現在

市町村	棚倉町	塙町	矢祭町	鮫川村	白河市	浅川町	石川町	西郷村	中島村	古殿町	須賀川市	県外	合計
人数	47	13	0	2	10	5	1	0	0	1	1	0	80
割合	58.8%	16.3%	0.0%	2.5%	12.5%	6.3%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	100.0%



1. 特別養護老人ホームはたるの里

(4) 月別面会者数



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会件数	79	115	95	110	127	95	94	107	122	113	105	118	1,280
オンライン面会	2	3	2	3	2	2	2	3	3	2	3	2	29

※ 面会件数 = 看取り等特例面会含む ※グラフ数値は「面会件数」+「オンライン面会」の合計数

『特徴ある施設作りを考え、選ばれる施設を目指す』

ご利用者のQOL向上を図ることを目的に、大きく4つのことに取り組んだ。

まず、定期的に幼稚園児や学生ボランティアを招き、楽しみながらふれあう機会を設けた。幅広い年齢層との関わりがご利用者に活気をもたらし、満足度向上に繋げることができたと考えるので、今後も積極的に受け入れを行っていく。

次に、長寿祝いの際に”自分史”としてこれまでの振り返り、他ご利用者や職員と共有した。思い出や経験談を知ることで、労いや感謝の気持ちが生まれ、ご利用者個人としても充実感のある振り返りの時間になると思われ、これからも継続していきたい取り組みである。

3つ目は、看取り介護の充実である。

嘱託医が看取り期まで寄り添う体制が整ったことにより、昨年度より本格的に「看取りケア」を行っている。今年度は全退所者の1/3の方をお看取りした。多職種間での情報共有を密に行うことを心掛け、昨年度改善点として挙げた「チームケアの質の向上」を目指して取り組むことができています。お看取り後には、職員を対象にアンケートを実施。カンファレンスを行うことで、改善点はもとより自分たちで力を入れて取り組んだケアについても職員間で共有した。看取りケアに対する不安感の軽減と、職員のメンタルケアも重視したい。何よりご利用者・ご家族に安心してお任せいただけるようなチーム作りに注力していく。

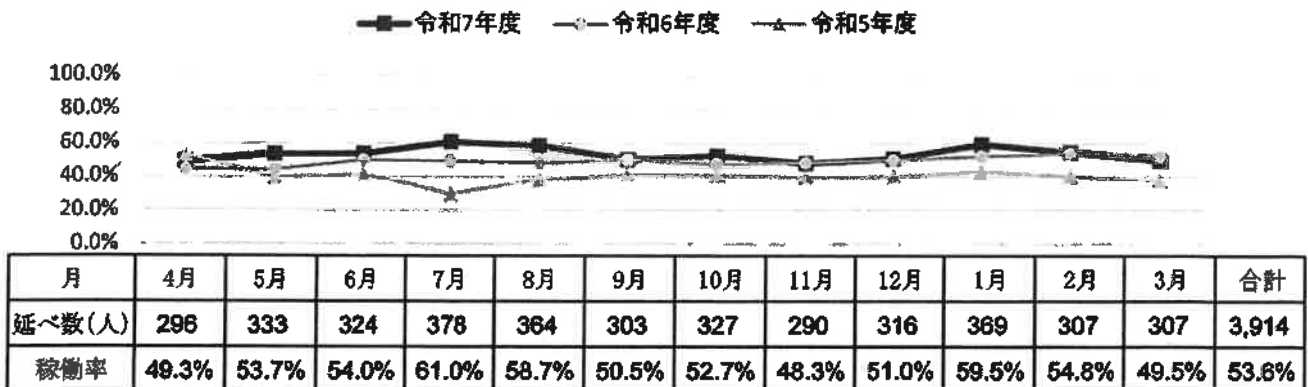
4つ目は、SNSの活用である。Instagramを開設し、ご利用者の日常を発信している。ご家族や地域、周辺機関との関係構築の場となるよう、また、入所希望者の増加・職員の確保にも有効活用できるよう、定期的に投稿をしていく。

『稼働率96%の維持』

入院予防と空床の軽減に取り組み、平均95%の維持を目標としていた。しかし、今年度の前半は持病の悪化による長期入院者が多く稼働率が伸び悩んだ。年度後半は、入所手続きの見直しやベッドコントロールを行い、また、日々の健康管理と体調不良に対して迅速な対応を心掛けた。結果、安定した稼働率となり、平均値として目標を達成することができた。最終的にはわずかに下回る結果となったが、来年度は目標値を96%としており、各部署との連携を図りながら進めていく必要がある。待機者の情報収集を行い、関係機関とのスムーズなやり取りに繋がれるようにすることで、空床期間の短縮を目指していく。

2. ショートステイはたるの里

(1) 稼働率

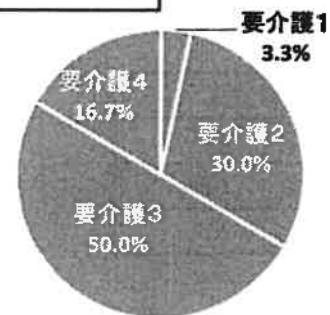
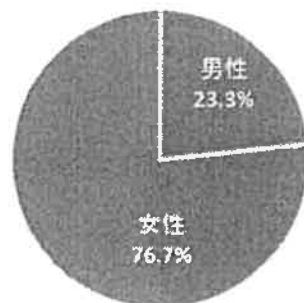


(2) 利用者性別／要介護度別割合

令和8年3月31日現在

	申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	0	0	2	3	2	0	7
女性	0	0	0	1	7	12	3	0	23
合計	0	0	0	1	9	15	5	0	30
比率	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	30.0%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%

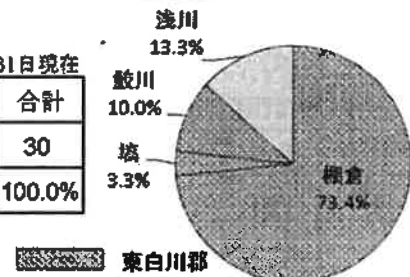
平均要介護度	
男性	3.2
女性	2.8
全体	2.9



(3) 利用者市町村別割合

令和8年3月31日現在

市町村	棚倉町	塙町	矢祭町	鮫川村	白河市	浅川町	古殿町	県外	合計
人数	22	1	0	3	0	4	0	0	30
割合	73.4%	3.3%	0.0%	10.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	100.0%



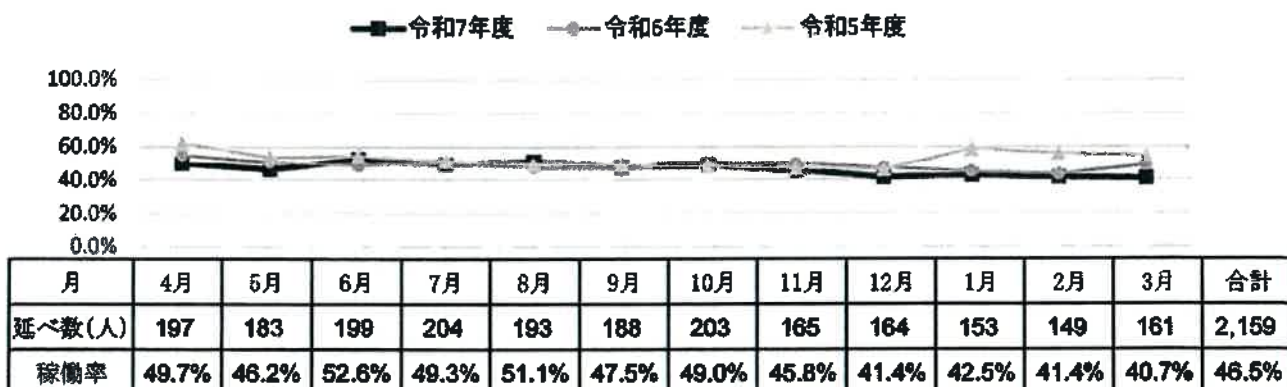
本年度は、新規利用者33名を受け入れ、その内訳は、定期利用13名、不定期利用6名、特養空床利用から本入所へ移行した利用者9名、利用継続に至らなかった利用者3名であった。また、既存利用者について、逝去や他施設入所等により15名が利用終了となった。

年間を通して目標としていた稼働率を上回ることができた。その要因は、情報共有を密にし特養空床を有効利用したことにより施設全体でのベットコントロールができた点が大きい。しかし、思うように稼働が伸びない時期もあり、その要因として4月から6月にかけて、急な入院や体調不良によるキャンセルが相次いだ事が挙げられる。その際、キャンセル待機者の多くが長期利用希望であったため、短期利用の空床調整が難しく稼働率が低下した。その後、空床情報を随時居宅支援事業所へ発信し新規利用者の確保に努めた結果、後半には定期利用者及びキャンセル待機者が増加し、平均稼働率は目標である96%前後で安定して推移するようになった。また、ご利用者一人一人の状態変化に応じた支援やご家族との情報共有を行い安心して利用継続出来る環境づくりにも努めた。

次年度は、利用状況の変化を早期に把握し、短期利用希望者の確保や居宅介護支援事業所との連携強化を図ると共に、空床情報の迅速な発信や特養の空床を含めた柔軟な受け入れ調整を継続し、安定した稼働率の維持を目標として取り組んでいきたい。

3. デイサービスセンターほたるの里

(1) 稼働率

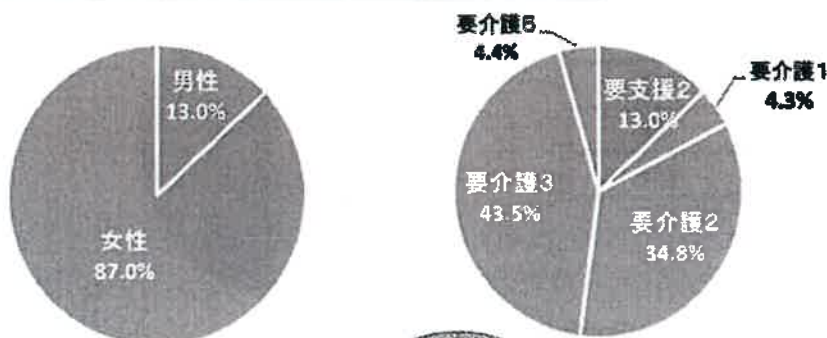


(2) 利用者性別／要介護度別割合

令和8年3月31日現在

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	0	0	2	1	0	0	3
女性	0	0	3	1	6	9	0	1	20
合計	0	0	3	1	8	10	0	1	23
比率	0.0%	0.0%	13.0%	4.3%	34.8%	43.5%	0.0%	4.4%	100.0%

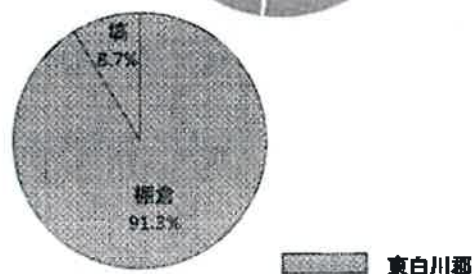
平均要介護度	
男性	2.5
女性	2.3
全体	2.3



(3) 利用者市町村別割合

令和8年3月31日現在

市町村	棚倉町	瑞町	鮫川村	白河市	浅川町	合計
人数	21	2	0	0	0	23
割合	91.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



今年度、稼働目標を達成できなかった。特に下半期は大きく下回る結果となった。要因としては、既存の定期ご利用者の体調不良によるキャンセルに加え、入院等による長期にわたる利用中止や入院によるADLの低下により利用自体が困難になるケースが多くあった。新規のご利用者も、継続利用につながってはいたが、その後入院や施設入所等により長期的な利用とは至らなかった。そういった中で、振替利用の声かけや既存ご利用者へ回数の増加を提案することや、ご利用者の個別のニーズに対し柔軟に対応する（半日利用やご家族送迎、乗車時間の短縮）ことなどの取組を行って来たが、目標を達成できるほどの成果は得られなかった。また、新規利用の問合せは定期的にあるが、リハビリ希望により他事業所を選択、デイサービス自体の利用をやめてしまうなどにより利用につながらないケースも多くある。

次年度に向け、空き状況に加え、ほたるの里の良さやアピールポイントなどを改めて考え直し、居宅介護支援事業所や利用希望者等に発信していかなければならない。さらに、職員のスキルアップに努めご利用者1人1人に合ったケアを行い、信頼、安心して過ごせる時間づくりを心がけたい。

4. 職員状況

(1) 職員数 ※上段:【左】退職職員数(各月前月末日付退職者数含む)【右】入社職員数 下段:在職職員数(各月1日時点)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	退職/入社 合計
施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 1
介護職員	0 1	0 1	3 1	2 0	0 1	1 1	1 2	1 0	0 2	2 0	0 0	0 1	10 10
	51	52	50	48	49	49	50	49	51	49	49	50	
介護支援 専門員	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
生活相談員	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
管理栄養士	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
機能訓練 指導員	0 0	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1
	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
看護師	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	1 0
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	
事務員	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0
	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	
生活支援員	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2	1 0	0 0	1 2
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	7	6	6	
合計	2 3	0 1	3 1	2 0	0 1	1 1	2 2	1 0	0 2	2 2	1 0	1 1	15 14
	75	77	75	73	74	74	74	73	75	75	74	74	

※複数の職種を兼務する場合、主務として従事する職種で集計

※産休、育休、病気療養中等 在職職員数に含む (令和8年3月1日現在、休職中職員1名)

※職種変更:退職職員数及び入職職員数に含む (令和7年度 介護支援専門員→生活相談員1名)

※補足 (1)介護職員 令和8年3月1日現在、パート職員7名含む

(2)看護師 令和8年3月1日現在、パート職員4名含む

(3)生活支援員 令和8年3月1日現在、パート職員4名含む

(2) 職員性別／職種別割合

令和8年3月1日現在

	施設長	介護職員	介護支援 専門員	生活 相談員	管理 栄養士	機能訓練 指導員	看護師	事務員	生活 支援員	合計
男性	1	3	0	0	0	0	1	1	3	9
女性	0	47	1	1	2	1	7	3	3	65
合計	1	50	1	1	2	1	8	4	6	74
割合	1.3%	67.5%	1.4%	1.4%	2.7%	1.4%	10.8%	5.4%	8.1%	100.0%

(3) 職員年代別割合

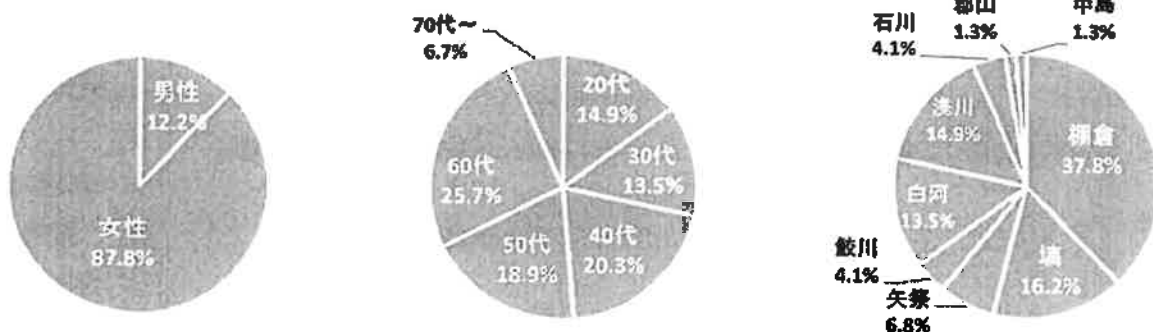
令和8年3月1日現在

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
人数	0	11	10	15	14	19	5	74
割合	0.0%	14.9%	13.5%	20.3%	18.9%	25.7%	6.7%	100.0%

(4) 職員居住市町村別割合

令和8年3月1日現在

市町村	棚倉町	塙町	矢祭町	鮫川村	白河市	浅川町	石川町	中島村	郡山市	合計
人数	28	12	5	3	10	11	3	1	1	74
割合	37.8%	16.2%	6.8%	4.1%	13.5%	14.9%	4.1%	1.3%	1.3%	100.0%



5. 事業計画達成状況

【特別養護老人ホームほたるの里】（全体）

(1) 目標

- ① その人らしい暮らしを実現するため、一人ひとりに合わせたサービスを提供する。
- ② 安心して暮らせる施設づくりをする。

(2) 事業計画達成のための業務目標／達成状況

項目	目標	実施内容（詳細）	期間/値等	達成状況
稼働	平均稼働率95%の維持	・他職種間で情報を共有し、ご利用者の体調不良の早期対応を行うことで、健康管理をする ・感染予防と迅速な初動対応の徹底 ・空床期間の短縮	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	積極的な情報発信をする	・新規申込者の獲得と既存の申込者の状況把握のため、医療機関、関係事業所との連絡を密にする ・施設見学の機会を設け、介護サービス利用のきっかけづくりをする	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
業務	特色のある施設づくりをする	・看取りケアの充実を図る ・ご家族と過ごす時間の充実を図る（外出・外泊・誕生日・面会など、柔軟な対応をする）	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	食を楽しめるように支援する	・季節感を大切にし、見た目も楽しめる食事の提供 ・誕生会やおやつレクを充実させる ・口腔機能・口腔衛生について専門職と連携を図り維持向上の意識をもてるようにする	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
接遇	介護の質の向上を図る	・24Hシートを活用して必要な情報を共有し、統一された介護を行う ・介護技術に直結する研修の機会を設ける ・ニーズを把握し個別性の高いサービスを提供する	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	楽しみのある暮らしを提供する	・余暇活動の充実を図る ・季節の行事の充実を図る ・ボランティアを積極的に誘致し交流する	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
人材	専門性の向上	・研修の定期開催 ・他事業所への見学やWEB会議を開催し、定期的に情報交換をする	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	人材の確保と定着を図る	・ホームページや広報誌、SNSを用いたの情報発信 ・福利厚生の充実を図る ・ICTを活用し業務の負担軽減と生産性の向上を図る	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった

5. 事業計画達成状況

【特別養護老人ホームほたるの里】春（さくら／すみれ）

(1) 目標

- ① 統一したケアでご利用者のQOLを高めていく
② 職員の技術や意識の向上に努め、みんなで働きやすい職場を作る

(2) 事業計画達成のための業務目標／達成状況

項目	目標	実施内容(詳細)	期間/値等	達成状況
ユニット方針	さくら ご利用者に寄り添い、身体に負担をかけないようなケアを行う	体調変化を早期に発見する。 痛みや苦痛の訴えや表情を読みとっていく。 その人らしさを発見していく。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	すみれ ケアの統一	毎月ユニット会議を行いケアの目的を共有する。 申し送りを滞りなく行う。 事故の対応策を一人一人確認するようにする。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
業務	さくら 多職種連携の促進	ケアプランを通じて介護、医療、事務が連携しご利用者の生活を支える。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	すみれ ご利用者の現状維持と体調変化の早期発見	1人1人を24hシートで把握。 ADLの維持に努める。 自立支援でQOLを高める。 少しの体調変化でも情報を共有する。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
接遇	さくら ご利用者に寄り添った介護サービスを提供する	言葉遣い、ケアを行う時の表情、伝え方を意識して介護を行うようにする。 セルフチェックやアンガーマネジメント、研修で接遇を向上させていく。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	すみれ 季節を感じられる活動、日々の楽しさや役割を提供する	レクリエーションを積極的に取り入れて楽しみのある生活を提供する。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
人材	さくら 業務を分担し偏りを軽減する 職員のスキルアップ	役割分担を明確化する。 委員会活動を積極的に行う。 小さな勉強会を行っていく。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	すみれ 職場環境の改善	連休の取得。 コミュニケーションを取りやすい雰囲気づくり。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった

5. 事業計画達成状況

【特別養護老人ホームほたるの里】 夏（ひなげし／ひまわり）

(1) 目標

- ① 「優しい言葉」「やさしい笑顔」「やさしい態度」で接する。
- ② ADL・QOLの維持向上を目指して健康で元気に生活していただく。

(2) 事業計画達成のための業務目標／達成状況

項目	目標	実施内容(詳細)	期間/値等	達成状況
ユニット方針	共通 ご利用者が安全に生活ができるようADL・QOLの維持向上を	季節の行事・歌・手作業・おやつレク・毎食前の口腔体操の実施など、ご利用者同士の交流や職員とのコミュニケーションを積極的にとり楽しい時間を設ける。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
業務	共通 ご利用者ごとに希望する生活スタイルにあわせたケアの実践。	24Hシートやケアプランを把握し日々の出来事をケースに残し個別ケアを実施する。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	共通 日々の関りを通して体調不良などの細かな変化に気づくことができる。	職員同士の報連相(5W1H)を密にして体調不良時などの対応をすみやかに行う。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
接遇	共通 挨拶・表情・態度・言葉遣い・身だしなみに気を付ける。	ご利用者への言葉遣いや思いやりをもって対応する。 信頼関係を築くことによって円滑なコミュニケーションを実現する。 不快な思いをさせない丁寧な態度で支援する。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	共通 ご利用者に寄り添う。	ご利用者が大切にしていることは何か、どのように過ごしたいか、楽しみにしていることは何か、利用者の思いを把握し、その思いの実現を目指して取り組む。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
人材	共通 職員研修や講習会に積極的に参加する。	介護の基本的な技術を身に付け、安全に介護ができるよう研修を受ける	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	共通 急変時の対応ができる。	感染症や心肺蘇生や誤嚥など緊急時に落ち着いて対応できるようフローチャートや感染症対策フローチャートを熟知する。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった

5. 事業計画達成状況

【特別養護老人ホームほたるの里】 秋（おみなえし／なでしこ）

(1) 目標

- ① ご利用者のADLの維持向上、24Hシートの更新と介護ケアの統一を図る。
② ご利用者が安心・安全に過ごせるような職場環境づくりをする。

(2) 事業計画達成のための業務目標／達成状況

項目	目標	実施内容(詳細)	期間/値等	達成状況
ユニット方針	共通 ご利用者のADLの維持向上を目指す	カンファレンス時やご利用者の状態変更時、速やかに24Hシートの更新する。 ケアプランに沿った介護ケアをする。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	共通 ご利用者の健康管理・安全の確保をする。	ご利用者の健康状態を把握し、職員間で情報の共有をする。 居室やユニット内の整理整頓を行う。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
業務	共通 ご利用者一人ひとり、ユニット職員が統一した介護を提供する。	24H シートに沿って介護を行う。 24Hシート更新時はユニット職員に連絡し統一した介護を行う。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	共通 急変時に冷静に対応できるようにする。	申し送りノート等を活用し、職員間の報連相(ほうれんそう)をしっかりと行う。 研修会に積極的に参加し、冷静に対応できるスキルをもつ。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
接遇	共通 認知症を理解したケアを実施する。	認知症の症状に合わせたケアをユニット職員や多職種と連携し、ユニット会議を開き対応していく。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	共通 ご利用者の要望に対応できるようにする。	コミュニケーションを細目に取り、ご利用者の話を傾聴し要望に対応できるようにする。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
人材	共通 職員のスキルアップを目指す。	研修会への参加、資格取得を目指す。 ユニット会議を開き勉強会を開催する。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	共通 働きやすい職場にし離職者をなくす。	ストレス緩和の為、職員間のコミュニケーションをとり、話しやすい職場にする。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった

5. 事業計画達成状況

【特別養護老人ホームほたるの里】 冬（すいせん／ひなぎく）

(1) 目標

- ① 尊厳ある自分らしい生活の継続・実現の為、ご利用者一人ひとりに合わせた24シートを作成し個別ケアを実践していきます。
- ② 一人ひとりの笑顔を大切に安心して生活が送れるよう、質の向上を目指します。

(2) 事業計画達成のための業務目標／達成状況

項目	目標	実施内容(詳細)	期間/値等	達成状況
ユニット方針	共通	尊厳ある生活、自分らしい生活を実現する	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	共通	楽しい時間を日課とすることでADL、QOLの維持と向上を目指す	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
業務	共通	自立支援・重度化を防ぐ	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	共通	ご利用者一人ひとりに対して統一したケアを提供する	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
接遇	共通	ご利用者に寄り添ったケアの実践	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	共通	認知症を理解したケアの実践	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
人材	共通	急変時でも冷静に対応できる人材を育てる	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	共通	離職者ゼロを目指す	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった

5. 事業計画達成状況

【ショートステイほたるの里】

(1) 目標

- ① 自宅に近い環境、生活を大事にして安心して過ごせるように努める。
② ご利用者の人格を尊重し、ご利用者の気持ちに寄り添うよう努める。

(2) 事業計画達成のための業務目標／達成状況

項目	目標	実施内容(詳細)	期間/値等	達成状況
ユニット方針	稼働率の向上	ご利用者、ご家族状況を把握し、居宅との情報交換の機会を積極的に設けると共に空床にならないような密な情報発信をし、利用者確保に繋げる。	稼働率 95%/月	☒ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	ご利用者、ご家族との信頼関係の構築	ご利用者、ご家族の気持ちに寄り添うケアを行うと共に報告、連絡、相談をこまめに行いご利用者とご家族との信頼関係を構築する。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
業務	ご利用者の満足度を向上	季節を感じられる工作や体操を行いながら、散歩や外出の機会を積極的に取り入れる。また新たなレクリエーションを提供する。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
接遇	ケアの統一を図り、心地良い時間を提供	ご利用者の言動より想いを組みとる。更に既往歴やADL状況を把握することで、適切な介護を行い自立支援を促す。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	認知症状を理解したケアの実施	認知症状を理解、行動を理解することで、不安な気持ちを組み取り、安心できる環境の提供をする。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
人材	職員のスキルアップ	研修への参加、資格取得を促す。また突発的な状況に応じた対応ができる職員を育成する。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
		緊急時、落ち着いて対応できる職員の育成を行う。	通年	☐ 達成出来た ☒ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった

5. 事業計画達成状況

【デイサービスセンターほたるの里】

(1) 目標

- ① ご利用者一人ひとりの人格を尊重し、個々のニーズに合わせた支援を行う。
 ② 専門職である意識を高め、サービスの質とご利用者の満足度向上を目指す。

(2) 事業計画達成のための業務目標／達成状況

項目	目標	実施内容(詳細)	期間/値等	達成状況
ユニット方針	新規利用者の獲得	空き状況を居宅へ向け積極的に発信していく。	日別実人数の週平均数 上半期9 下半期10人	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった
	ご利用者の満足度の向上を目指す	ご利用者の出来ることを見極めながら、楽しく過ごせる充実した利用時間の提供をする。	通年	☒ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
業務	季節を感じられるレクリエーションを行う	季節の壁画飾りの制作、年中行事に合わせたゲームや外出レクの実施。	通年	☒ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
	事故防止に努める	ご利用者の状況把握をし、危険要因を予測するとともに、業務分担を行うことで見守りの強化を図る。	通年	☒ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
接遇	日々の変化にも対応しながら、ケアの統一を図る	本人、家族、居宅との情報共有を行い、ケア方法の統一を図る。	毎日	☒ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
		ご利用者の観察やコミュニケーションを通して変化に対応していく。	通年	☒ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
人材	働きやすく、個々がスキルアップを目指せる職場環境	必要な休みの確保ができ、職員同士の協力体制が整う環境を目指す。	通年	☒ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☐ 達成できなかった
		入浴の研修の受講含め、職員研修に参加することでスキルアップをしていく。	通年	☐ 達成出来た ☐ 一部達成出来た ☒ 達成できなかった

6. 業務改善委員会

(1) 委員会実績

実施年月日	内容	担当
令和7年4月16日	業務改善提案、一年間の委員会活動、研修感想用紙、24Hシート作成、リネンクリーニングについて	委員
5月20日	業務改善提案、リネンクリーニング、24シートの変更、口腔ケアについて	委員
6月17日	業務改善提案、リネンクリーニング、掛布団について	委員
7月15日	業務改善、ラバーシート購入、福祉用具数確認について	委員
8月18日	業務改善提案再検討、バスマット購入、上半期事業計画評価とBCP個人カードの更新について	委員
9月16日	福祉用具購入再検討、バスマット購入について	委員
10月21日	ユニット目標の上半期の評価について	委員
11月18日	福祉用具購入、24Hシート更新について	委員
12月16日	福祉用具購入と数の更新、業務改善提案、24Hシートについて	委員
令和8年1月20日	福祉用具と数の更新、ユニット目標の下半期評価と来年度の事業計画について	委員
2月17日	個浴用置き時計購入、生産性向上について	委員
3月17日	生産性向上アンケート、サブリーダーの業務について	委員

(2) 内部研修実績

実施年月日	内容	担当
令和7年4月16日	事業計画説明、個人情報保護、苦情処理	施設長・事務長・相談員主任
4月22日	緊急時の対応	看護主任
5月20日	業務継続計画(BCP)	介護主任
5月27日	緊急時の対応	介護主任・看護主任
6月17日	身体拘束廃止、虐待防止、事故防止	リスクマネジメント委員会
6月25日	業務継続計画(BCP)実動訓練(地震想定)、非常食提供訓練	施設長・管理栄養士
7月17日	特別養護老人ホームにおける死亡者数推移と看取りケア	嘱託医
8月19日	認知症の理解とケア	相談員主任
8月26日	ボディメカニクス(介護の基本)	機能訓練指導員(PT)
8月27日	業務継続計画(BCP)実動訓練(水害想定)	施設長
9月16日	ノロウイルス食中毒対策	管理栄養士・看護主任
9月30日	業務継続計画(BCP)	介護主任
10月21日	新型コロナウイルス感染症	看護主任
11月18日	ボディメカニクス(介護の基本)	機能訓練指導員(PT)
12月3日	褥瘡予防のポジショニング	機能訓練指導員(PT)
12月3日～5日	事故防止	施設長
12月16日	認知症の理解とケア	相談員主任
12月25日	介護の基本(新人対象)	機能訓練指導員(PT)
令和8年1月14日	褥瘡予防のポジショニング	機能訓練指導員(PT)
1月20日	身体拘束廃止、虐待防止、事故防止	リスクマネジメント委員会
1月27日	防災訓練座学研修:BCP(BCPファイルの確認方法、夜間帯の発災、蓄電池・備品について)	施設長
2月17日	外部研修報告会	介護職員・介護主任
2月24日	高齢者に多い疾患と対応策	看護主任
3月17日	ハラスメント防止	相談員主任

7. 給食委員会

(1) 提供等実績

実施年月日	内容	結果	担当
令和7年4月7日	お花見献立の提供	桜風味のちらし寿司を提供。	管理栄養士 調理員
5月5日	季節食の提供	たけのこ御飯やおやつには柏餅を提供。	管理栄養士 調理員
6月	嗜好調査の実施	利用者様の意見、感想を聞き、今後の献立作成の参考となった。	管理栄養士 委員
7月7日	七夕献立の提供	昼食時にそうめん、おやつには七夕ゼリーを提供。	管理栄養士 調理員
8月4日～8日	小夏祭りの実施	地域交流スペースで催し物の後、アイスクリームを提供。	管理栄養士 委員
9月15日	敬老の日献立の提供	赤飯や天ぷら、おやつは祝い饅頭を提供、ご利用者に大変喜ばれた。	管理栄養士 調理員
9月28日 10月5日	秋祭りの実施	午後の開催に合わせ、けんちんうどんやほうとう風うどんを早出しで提供。	管理栄養士 調理員
11月21日	季節食の提供	旬の食材を使用した献立を提供。	管理栄養士 調理員
12月	嗜好調査の実施	ご利用者の意見、感想を聞き、今後の献立作成の参考となった。	管理栄養士 委員
12月24日	クリスマス献立の提供	チーズハンバーグなど、普段とは違うメニューでクリスマスらしさを感じていただいた。	管理栄養士 調理員
12月31日	年越しそばの提供	年越しそばを提供し、ご利用者に一年の節目を感じていただいた。	管理栄養士 調理員
令和8年1月1日	お正月献立の提供	おせち料理を提供し、新年の喜びを感じていただいた。	管理栄養士 調理員
1月5日～10日	初詣の甘酒提供	地域交流スペースでのお参りで甘酒と梅ようかんを提供。	管理栄養士 委員
2月3日	節分献立の提供	節分の雰囲気味わえるよう、巻き寿司を提供。	管理栄養士 調理員
3月3日	ひな祭り献立の提供	海鮮ちらし寿司を提供。	管理栄養士 調理員

8. リスクマネジメント委員会

(1) 委員会実績

実施年月日	内容	担当
通年	事故報告書の集計、再発防止策のアセスメント	委員
	情報共有、センサーマットの使用状況、身体拘束有無の確認	
	→見守りセンサーは新規入居者、看取り対象者、退院してきた方を優先する。	
	アンガーマネージメントの実施・集計（3ヶ月毎に実施）	
	虐待の芽チェックリストの実施・集計（6ヶ月毎に実施）	
	→介護職のストレス軽減と怒りの原因を整理して適切に対処できるようにする。	
	【年間集計】	
	事故報告 242件 （内重大事故 2件）	
	ヒヤリハット 68件	
	【事故後の対応】	
	再発防止のため、委員を中心にユニット職員、専門職と共にその都度対応策を考え対応した。	
	【主な改善内容】	
	再発防止に向け、介護技術等の職員要因の事故発生時には職員研修やマニュアルの再確認、必要に応じた見直しを行った。	
	また、個人要因や環境要因に対応すべく、本人に適した福祉用具の選定や環境調整を行うことで事故防止を行ってきた。	
通年	身体拘束廃止、虐待防止について	委員
	【年間集計】	
	身体拘束実施 0件	
	センサーマット使用 0件	
	【実施、使用理由】	
	身体拘束：実施なし	
	センサーマット：実施なし	

(2) 研修実績

※ 6.業務改善委員会（2）内部研修実績 参照

9. 防災委員会

(1) 訓練実績

実施年月日	内容	担当
令和7年4月30日	自主避難訓練(夜間、出火場所四季ユニットつじ想定) 防災設備・誘導備品点検	委員
5月28日	消防署立会い避難訓練(夜間、出火場所四季ユニットつじ想定) 消火器による初期消火訓練、研修、反省会	委員 棚倉消防署
6月25日	業務継続計画(BCP)実動訓練(地震想定) 非常食提供訓練	施設長 管理栄養士
7月30日	中止(施設内コロナウイルス感染症発生のため)	—
8月27日	業務継続計画(BCP)実動訓練(水害想定) 緊急連絡訓練(LINEグループ)	施設長
9月24日	中止(インカム点検のため)	—
10月29日	自主避難訓練(夜間、出火場所四季ユニット想定) 防災設備・誘導備品点検	委員
11月26日	中止(インフルエンザ感染症発生のため)	—
12月17日	自主避難訓練(夜間、出火場所四季ユニット想定) 防災設備・誘導備品点検	委員
令和8年1月27日	BCP研修(BCPファイルの確認方法、夜間帯の発災、蓄電池・備品について) 持ち出し袋の配布	施設長
2月27日	自主避難訓練(夜間、出火場所四季ユニット想定) 防災設備・誘導備品点検	委員
3月25日	自主避難訓練(夜間、出火場所四季ユニット想定) 防災設備・誘導備品点検 水消火器による初期消火訓練、反省会	委員

(2) 研修実績

※ 6.業務改善委員会 (2)内部研修実績 参照

10. 感染症・褥瘡対策委員会

(1) 委員会実績

実施年月日	内容	担当
令和7年4月16日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 感染症流行状況の確認と感染予防のための標準予防策の徹底 発熱者への対応方法の確認 施設内感染ラウンド	委員
5月20日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 面会制限緩和の検討と決定 コロナ発生時初動対応の見直し 施設内感染ラウンド	委員
6月17日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 コロナ発生時初動対応の見直し ご家族差し入れ物へのチェック体制の確認 施設内感染ラウンド	委員
7月15日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 食中毒への注意喚起 研修予定の確認 施設内感染ラウンド	委員
8月19日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 施設内感染ラウンド	委員
9月16日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 インフルエンザ・コロナワクチン接種について 施設内感染ラウンド 職員研修（ノロウイルス・食中毒対策について）	委員 看護主任
10月21日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 インフルエンザ・コロナワクチン接種について 施設内感染ラウンド 職員研修（ノロウイルス・食中毒対策について）	委員 看護主任
11月～12月	インフルエンザ予防接種実施（入居者／職員） コロナウイルス予防接種実施（入居者）	嘱託医 看護師
11月18日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 温度・湿度管理について啓発 施設内感染ラウンド	委員
12月16日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 年末年始の感染対策について啓発 温度・湿度管理について 施設内感染ラウンド	委員
令和8年1月20日	インフルエンザ発生状況の確認 褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 温度・湿度管理について 施設内感染ラウンド	委員
2月17日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 温度・湿度管理について 施設内感染ラウンド	委員
3月17日	褥瘡発生者の経過及び今後の治療方針の報告 エアマット等の使用状況を確認し必要性等を検討 温度・湿度管理についての啓発 施設内感染ラウンド	委員

(2) 研修実績

※ 6.業務改善委員会 (2) 内部研修実績 参照

11. 行事・広報委員会

(1) 委員会実績

実施年月日	内容	担当
令和7年4月10日	5月・6月行事について 秋祭りについて	委員
5月15日	6月行事について 小夏祭りについて 秋祭りについて	委員
6月12日	7月行事について 小夏祭りについて 秋祭りについて	委員
7月10日	8月行事について 小夏祭りについて 秋祭りについて	委員
8月14日	9月行事について 敬老会について 秋祭りについて	委員
9月11日	10月行事について 敬老会について 秋祭りについて	委員
10月9日	11月行事について 紅葉狩りについて	委員
11月13日	12月行事について クリスマス会について	委員
12月11日	1月行事について 初詣について	委員
令和8年1月15日	2月行事について 節分について	委員
2月12日	3月・4月行事について ひな祭りについて お花見について	委員
3月12日	4月・5月行事について	委員

11. 行事・広報委員会

(2) 行事開催実績

実施年月日	内 容	担当者
令和7年4月7日 ～4月11日	お花見(桜) 場 所 棚倉城跡・赤館・花園・社川 (棚倉町) 棚倉町の名所、満開の桜を車で巡って見物された。	ユニット職員 事務室職員 看護師
6月4日	職員による歌謡ショーと余興 場 所 地域交流スペース 職員による歌と余興を楽しんでいただいた。	ユニット職員 事務室職員
8月4日 ～8月11日	小夏祭り 場 所 地域交流スペース 縁日を設けてお祭り感覚を楽しんでいただきたい。	委員 ユニット職員 事務室職員
9月14日 9月15日	敬老会 場 所 地域交流スペース 森令子先生と音楽教室生徒さんによるカラオケショーをお楽しみいただく。	委員 ユニット職員 事務室職員
9月28日 10月5日	秋祭り 場 所 職員駐車場 感染症対策のため2日間に分けて開催。 ご家族も参加いただき、太鼓やフラダンス、歌、篠笛、民謡、よさこい踊り等楽しまれた。	委員 全職員
11月10日 ～11月14日	紅葉狩り 場 所 山本不動尊(棚倉町) 紅葉を見て秋を感じていただいた。	ユニット職員 事務室職員 看護師
12月23日 12月24日	クリスマス会 場 所 地域交流スペース 職員による歌謡ショーを楽しまれた。 サンタクロースに扮した職員がご利用者にプレゼントを渡した。	委員 ユニット職員 事務室職員
令和8年1月5日 ～1月10日	初詣 場 所 地域交流スペース ほたる神社を設置。初詣、おみくじ、絵馬に願い事を書き祈願。 甘酒を提供。 獅子舞も登場、福笑い等正月遊びをし、お正月気分を楽しんでいただいた。	委員 ユニット職員 事務室職員
2月3日	節分、豆まき 場 所 各ユニット内 鬼に扮した職員に豆(新聞紙を丸めたもの)をぶつけて鬼退治していただく。	ユニット職員
入居者の誕生日 当日	誕生会 【誕生日プレゼント】お祝い色紙 【おやつ】ケーキ、パバロア等	ユニット職員 管理栄養士

(3) その他実績

実施年月日	内 容	担当者
通年	広報誌の発行 年4回(4月、7月、10月、1月)『四季だより ほたる』を発行	事務職員
令和7年4月15日	第40号 発行	
7月15日	第41号 発行	
10月15日	第42号 発行	
令和8年1月1日	第43号 発行	
毎月	ホームページレポート掲載 日頃の様子等うつみね福祉会公式ホームページ上に公開	事務職員

12. QOL委員会

(1) 委員会実績

実施年月日	内容	担当
令和7年4月16日	SNS運用、今後の予定、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
5月20日	SNS運用、つながる家族(WEBサービス)、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
6月17日	SNS運用、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
7月15日	SNS運用、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
8月19日	SNS運用、新企画、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
9月16日	SNS運用、冬の作品コンテスト、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
10月21日	SNS運用、冬の作品コンテスト、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
11月18日	委員会の目的、SNS運用、冬の作品コンテスト、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
12月16日	SNS運用、冬の作品コンテスト、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
令和8年1月20日	SNS運用、冬の作品コンテスト、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
2月17日	SNS運用、冬の作品コンテスト、アアムス(見守り支援システム)、 節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員
3月17日	SNS運用、新企画、アアムス(見守り支援システム)、節電・節ガス・節水について その他申し送り	委員

(2) その他実績

実施年月日	内容	担当
通年	インスタグラムの投稿 毎週木曜日 ※令和7年12月より正式運用開始 各ユニットごとにローテーションでユニット内の日頃の様子を発信 その他施設行事等については随時投稿	委員 事務職員
令和7年12月22日 ～令和8年1月12日	冬の作品コンテスト開催 「冬」をテーマに各ユニットでご利用者と職員で作品(壁飾り)を作成 地域交流スペースに展示 投票箱設置し一番投票数の多かったユニットに賞品贈呈	委員
令和8年2月25日	冬の作品コンテスト表彰式 金賞:冬ユニット 賞状・トロフィー・賞品(高級アイスクリーム)贈呈 銀賞:四季ユニット 銅賞:秋ユニット	委員

13. 外部研修参加実績

実施年月日	主催団体等	研修内容	参加人数
令和7年5月1日	福島県老人福祉施設協議会	施設長事務長研修会	1名
5月2日 5月5日	全国高齢者施設看護師会	看護師勉強会	1名
6月4日	福島県老人福祉施設協議会	施設ケアマネ研修会	1名
7月3日、8月7日、 9月4日、10月2日、 11月6日	あおぞら税理士法人	社会福祉法人簿記講座	1名
7月28日	福島県老人福祉施設協議会	機能訓練担当者研修会	1名
9月25日～26日 10月9日～10日 11月11日	福島県認知症介護指導者連絡会	福島県認知症介護実践者研修	1名
10月7日	福島県老人福祉施設協議会	外国人介護人材オンライン面接会に係る説明会	3名
10月9日	福島県老人福祉施設協議会	次世代ミーティング	1名
10月16日	福島県老人福祉施設協議会県南支部	機能訓練担当者研修会	1名
10月23日	福島県老人福祉施設協議会	介護職員研修会	1名
10月23日	福島県老人福祉施設協議会県南支部	事務職員研修会	1名
11月4日	福島県老人福祉施設協議会	接遇マナー研修会	1名
11月5日	福島県県南保健福祉事務所	社会福祉施設等感染症予防対策研修会 (高齢福祉施設等向け研修会)	1名
11月21日	福島県社会保険協会、日本年金機構	社会保険事務講習会	1名
11月26日	福島県老人福祉施設協議会県南支部	看護職員研修会	1名
11月27日	福島県社会福祉協議会	社会福祉施設栄養士研修	1名
12月1日	福島県老人福祉施設協議会県南支部	給食・栄養士研修会	1名
令和8年1月28日	福島県老人福祉施設協議会県南支部	介護支援専門員研修会	1名
1月28日～30日	中央福祉学院	社会福祉主事資格認定通信課程 スクーリング(集合研修)	1名
2月4日	高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部	障害者雇用納付金申告申請書作成事務説明会	1名
2月13日	福島県老人福祉施設協議会県南支部	介護職員研修会	1名
2月25日	ハローワーク白河	精神・発達障害者雇用促進セミナー	1名
3月30日	福島県老人福祉施設協議会	デイサービスセンター研修会	1名

14. 地域交流実績

実施年月日	団体	内容	人員
令和7年4月30日	杜川幼稚園	慰問活動	25名
5月13日	近津幼稚園	交流活動	17名
7月2日	近津幼稚園	交流活動	16名
7月4日	棚倉町民生児童委員協議会	ふれあい活動	7名
7月8日	杜川幼稚園	交流活動	23名
7月15日	棚倉町町長	米寿祝訪問	3名
7月18日	棚倉町赤十字奉仕団	友愛訪問	13名
7月28日	近津幼稚園	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修(社会体験研修)	1名
8月4日～5日	修明高校学法石川高校	サマーショートボランティアスクール	2名
8月20日	棚倉レクダンス	慰問活動	17名
8月29日	町内小学校	チャレキッズ	8名
9月10日～11日	棚倉中学校	職場体験	4名
9月14日	森令子音楽教室(月見草会)	敬老会慰問	7名
9月14日	森令子音楽教室(鳩たんぽぽ会)	敬老会慰問	4名
9月28日	鳩祭ばやし保存会	秋祭り慰問	22名
9月28日	石井勇喜	秋祭り慰問	1名
9月28日	石川郡よさこ踊り隊	秋祭り慰問	8名
9月28日	花園会	秋祭り慰問	4名
10月1日	近津幼稚園	交流活動	26名
10月3日	棚倉町民生児童委員協議会	ふれあい活動	7名
10月5日	大縄曉子	秋祭り慰問	2名
10月5日	民舞さくらの会	秋祭り慰問	7名
10月5日	リアプラススクール	秋祭り慰問	10名
10月5日	表郷レクリエーションクラブ	秋祭り慰問	22名
11月13日	棚倉町町長	米寿祝訪問	4名
令和8年1月21日	棚倉町町長	米寿祝訪問	3名
2月13日	シーズ	バレンタインチョコ贈呈	2名
2月18日	近津幼稚園	交流活動	16名

「相談支援事業所ひだまり」事業報告書

令和8年3月現在

1 市町村別契約者数

単位:人数

	須賀川	鏡石	玉川	田村	富岡	三春	福島	会津	会津坂下			その他	計
児童	201	2	1										204
成人	38	9		1	1	1	5	5	1			0	61
計	239	11	1	1	1	1	5	5	1	0	0	0	265

2 月別請求件数(国保連)

※計画・モニタリング総数

令和3年度

単位:件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童	23	24	17	29	27	23	19	19	23	26	21	24	275
成人	6	9	5	13	5	20	5	8	5	9	5	7	97
計	29	33	22	42	32	43	24	27	28	35	26	31	372

令和4年度

単位:件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童	27	23	21	23	33	35	20	18	28	26	25	28	307
成人	12	6	8	12	8	14	3	7	9	13	11	4	107
計	39	29	29	35	41	49	23	25	37	39	36	32	414

令和5年度

単位:件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童	38	30	24	24	44	20	36	32	27	30	33	42	380
成人	9	9	9	5	18	11	3	10	8	14	11	5	112
計	47	39	33	29	62	31	39	42	35	44	44	47	492

令和6年度

単位:件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童	31	27	23	22	42	29	25	39	29	32	31	35	365
成人	8	7	6	10	7	6	7	10	8	14	11	5	99
計	39	34	29	32	49	35	32	49	37	46	42	40	464

令和7年度

単位:件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童	39	37	20	33	38	33	31	37	32	38	37	47	422
成人	6	11	9	10	7	12	12	9	7	13	10	5	111
計	45	48	29	43	45	45	43	46	39	51	47	52	533

3 令和7年度 請求金額

単位:円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童	791,490	882,720	401,980	704,920	818,920	690,900	716,740	802,900	696,810	846,800	847,850	980,830	9,182,860
成人	108,960	223,550	179,940	178,220	143,720	237,960	235,860	178,470	138,320	249,670	189,100	82,170	2,145,940
計	900,450	1,106,270	581,920	883,140	962,640	928,860	952,600	981,370	835,130	1,096,470	1,036,950	1,063,000	11,328,800

4 総括

令和7年度は相談支援専門員を1名を増員したため、児童の新規での依頼を受け入れることが可能となり、進学等で放課後等デイサービス事業所への通所の契約解除をする児童があったにもかかわらず、契約者数は30名ほど増加した。

同時に、相談支援専門員人数増加により、相談件数も増えたことと併せて強化型Ⅲから強化型Ⅱと増額になったため、報酬昨年度に比べて190万円程増加した。

令和8年度も相談への需要が高まっている中、今後とも十分期待に応えられるものと思われる。

令和7年度うつみね診療所活動報告

【はじめに】

今年で、うつみね診療所運営も4年目を迎えました。

これまで、地域医療に根ざした在宅訪問診療を中心に医療の提供に努めてきました。

これからも、同様に在宅訪問診療を中心とする医療の提供と外来診療を担い、患者さんやご家族が、地域で安心して生活が送れるように、医療機関などと連携を図りながら、支援していきます。

ここに、令和7年度の活動報告をいたします。

【活動報告】

1. 令和7年度年報と振り返り
2. ほたるの里年報
3. 産業医・施設医の活動報告
4. 講演会・地域活動の報告及びまとめ

1. 令和7年度在宅訪問診療年報と振り返り

	令和7年度	令和6年度	備 考
在宅訪問件数	420件	444件	令和6年度より24件の減ではあるが、ほぼ変わらず同じ状況であった。
新規受け入れ患者	28名	29名	令和6年度より1件の減であり、ほぼ変わらず。 今年度は、癌末期状態の新規ケースが若干増えた。
外来受診者数	338名	345名	令和6年度より7件の減であるが、ほぼ変わらず。 完全予約制であるが、突然の来所受診患者も積極的に受け入れてきた。
看取り数（在宅）	12件	14件	在宅の看取りは令和6年度とほぼ変わらなかった。 50歳代～60歳代の癌末期状態の看取りが続いた。
看取り数（施設）	3件	7件	高齢者がほとんどのため、常に看取りの体制を整えてきた。 病状変化に伴うご家族への病状説明や必要時も説明をしてきた。 特に最期に向けては、ご家族に丁寧な病状説明をしてきた。

【振り返り】

診療業務として、主に午前中は在宅訪問診療・午後は外来診療・木曜日は施設訪問診療（棚倉町にある「はたるの里」）などを担っている。その中で、在宅訪問件数、新規在宅患者件数などには大きな変動はなく、昨年とほぼ同件数であった。

新規在宅診療患者の受け入れ状況として、がん末期状態の50歳代～60歳代の患者のケースが若干増え、病態の確認、薬剤調整、麻薬の処方に伴う頻回なる訪問、短期間での看取りなど、煩雑化の中で積極的に受け入れ、少しでも家族のいる中での療養生活を送れるように支援をしてきた。

今後も、地域で暮らす住民のためにより一層支援していきたいと思います。

ほたるの里年報（令和7年度）

うつみね診療所

[illegible]

4. 産業医・施設医の活動報告

【産業医】 契約会社の定期巡視訪問（月1回の定期訪問診）

	名称	場所	内容
①	株)釜屋	須賀川市森宿字安積田1-1	【業務内容】 (1) 巡視 (2) 労働安全衛生委員会に出席 (3) 労働者ストレスチェック (4) 面談 (5) 職場健診結果のチェック (6) 健診結果にて要精査などの受診の情報提供など (7) 定期健康診断内科検診 (8) 学校保健委員会
②	株)釜屋リサイクルセンター	岩瀬郡鏡石町成田東9	
③	株)アルファ電子	岩瀬郡天栄村大字飯豊字向原60-2	
④	ニューワーク情報有限会社	須賀川市栄町370番地	
⑤	須賀川創英館高等学校	須賀川創英館高等学校	

【施設医】 「特別養護老人ホームほたるの里」定期訪問診療実施（週1回（木）の定期訪問診療）

ほ た る の 里	4ユニット 80名	春ユニット	20名	【業務内容】 (1) 定期的診察及び臨時訪問診察・看取り (2) 処置 (3) 内服薬等の処方 (4) 家族・職員への病状説明 (5) 診療情報提供書作成（他医療機関へ） (6) 予防接種（利用者及び職員） ・インフルエンザワクチン ・肺炎球菌ワクチン ・新型コロナワクチン ・带状疱疹ワクチン (7) 薬局との連携 (8) 職員面談（必要時） (9) 職員との勉強会
		夏ユニット	20名	
		秋ユニット	20名	
		冬ユニット	20名	

5. 講演会【講師】

	日時	演題	場所	対象者・参加人数	主催
①	R7年7月17日 (木)	特別養護老人ホームにおける死亡者 数推移と看取りケア	ほたるの里	職員35名	ほたるの里
②	R7年9月16日 (火)	みんなで100歳まで生きよう！	大東コミュニティ	一般者約名	東部包括支援センター
③	R7年10月8日 (水)	健康について	須賀川2小児童クラブ館	職員45名	ひだまり相談室
④	R7年10月23日 (木)	健康セミナー	アルファ電子会社	従業員	アルファ電子株式会社
⑤	R8年3月18日 (水)	仕事におけるストレスとの向き合い 方とストレスチェックの活用法	ニューワーク情報サービス会 社食堂	職員13名	ニューワーク情報サービス有限公司 キャリアデザイン事業部

6. 地域活動

①	当番制	須賀川地方休日夜間急病診療所	保健センター	地域住民	須賀川市・医師会・薬剤師会
②	月1回	須賀川市介護認定審査会	須賀川市役所	審査関係者	須賀川市
③	月4回 金曜日10時放送	ウルトラFM番組放送 (健康について)	須賀川市テッテ	一般聴衆	こぶろ須賀川 須賀川地域コミュニティラジオ
④	R7年6月13日 (金)	蕎麦祭	東部包括支援センター 駐車場	地域住民15名	東部包括支援センター
⑤	R7年9月27日 (土)	大東フェスティバル (健康相談)	大東コミュニティ	一般者若干名	臨空大東街づくり協議会

7. まとめ

令和7年度は、3人診療体制（医師1名、看護師2名）、事務職不在の中で業務に携わり、レセプトを重点とした事務手続きやオンライン資格確認導入による操作など、多岐にわたる業務を遂行してきました。

今後も、うつみね診療所の理念のもとに、より一層地域医療に貢献していきたいと考えます。